JA

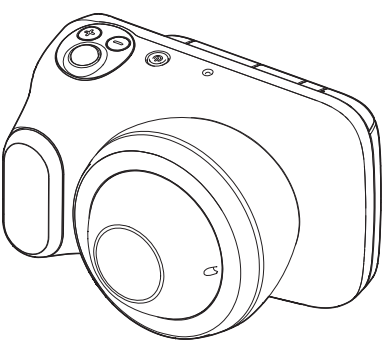
CASIO

D'Z IMAGE

ダーモカメラ

機種名 DZ-D100

取扱説明書



このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- 本機をご使用になる前に、必ず別冊「クイックスタートガイド」の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

重要

- 本機は診断機ではありません。皮膚病変の観察用としてお使いください。
- 本機での撮影は、全身の皮膚表面および粘膜が対象となります。粘膜の撮影については、口腔内、眼球、陰部以外は対象外です。撮影対象の患者については、年齢や性別の制限はありません。
- 本機は、撮像素子、レンズおよび照明用のLEDなどにより構成される皮膚観察用のデジタルカメラです。
- 本機と操作者との距離は40cm以内になります。

原理について

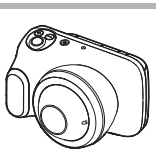
レンズから取り込んだ画像情報をカメラ内部のCMOS撮像素子により電気信号に変換し、カメラのLCDモニターに映像として表示します。
LCDモニターに表示される映像を見ながら撮影する画像を決め、シャッターボタンを押して撮影をします。CMOS撮像素子で捉えた映像を電気信号に変換し、撮影した画像をメモリーカードに保存します。
特殊なレンズを内蔵しているため、通常のデジタルカメラと同様に離れた被写体を撮影することも、レンズを皮膚病変などに接触させて撮影することもできます。
接写する場合は、レンズの内側からLEDライトを照射して撮影します。照射するLEDライトは偏光フィルターを搭載しているので、偏光／非偏光を切り替えて照射することもできます。

使用目的または効果

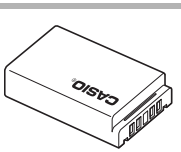
本機は、皮膚を接写、または離れて撮影することができます。皮膚を接写する場合、レンズ内部から LEDライトを照射して撮影します。離れて撮影する場合、レンズ外周にあるリングライトを照射することもできます。本機1台で、皮膚病変の拡大画像と、病変がある部位の全体画像の両方を記録することができます。
本機では、LEDライトを偏光／非偏光に切り替えることができ、シャッターを1回押すだけで真皮／表皮の両方の画像を撮影することができます。

付属品を確認する

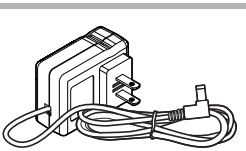
箱を開けたら、以下の付属品がそろっているか確認してください。そろっていないときは、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。



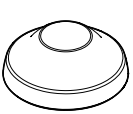
ダーモカメラ
(型式　DZ-D100)



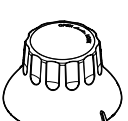
リチウムイオン充電池
(型式　DNP-100M)



本体充電用ACアダプター
(型式　AD-M50300A)



レンズキャップ
(型式　DLC-100M)



先端取り外し器
(型式　DLR-100M)

クイックスタートガイド
(保証書付き)および添付文書

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

撮影前は試し撮りを

必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

目次

原理について 2
使用目的または効果 2
付属品を確認する 2
あらかじめご承知ください 3
各部の名称 7
液晶モニターの表示内容と切り替えかた 8

はじめにご覧ください(基本的な操作) 11

箱を開けたら、電池を充電する 11
▮電池を入れる 11
▮充電する 12
メモリーカードを準備する 15
▮メモリーカードを入れる 15
電源を入れる/切る 17
タッチパネルを使う 18
最初に電源を入れたら表示言語と日時を設定する 19
液晶モニターを開閉する 20
カメラの正しい構えかた 21
撮影する 22
▮撮影モードを設定する 22
▮撮影する 23
撮影した静止画や動画を見る 24
撮影した静止画や動画を消去する 25
撮影時のご注意 28

撮影する 29

撮影モードを設定して静止画や動画を撮影する 29
▮NORMALモードで撮影する . . . . . (NORMAL) . . . 29
▮DERMO CONTモードで撮影する . . . . . (DERMO CONT) . . . 30
▮DERMOモードで撮影する . . . . . (DERMO) . . . 30
▮DERMO AIFモードで撮影する . . . . . (DERMO AIF) . . . 31
▮動画NORMALモードで撮影する . . . . . (NORMAL(動画)) . . . 32
▮動画DERMOモードで撮影する . . . . . (DERMO(動画)) . . . 32
▮MICROSCOPEモードで撮影する . . . . . (MICROSCOPE) . . . 33
撮影直後の画像を表示する 34
明るさを補正する . . . . . (露出補正) . . 34
ズーム撮影する 35
保護フィルムを貼って撮影する 36

よりよい撮影のための設定 37

撮影設定について 37
■撮影情報を表示する 37
■撮影時、液晶モニターにスケールを表示する 37
■ライトの明るさを切り替えて撮影する 38
■フィルターを切り替えて撮影する 38
■セルフタイマーを使う 38
■小径アダプターを付けて撮影する 39
■色合いを調整する . . . . . （ホワイトバランス） . . . 41

静止画や動画を再生する 42

撮影した静止画や動画を見る 42
画像を拡大して表示する 42
画像を一覧表示する . . . . . （サムネイル表示） . . 42

再生時のその他の機能 43

いろいろな再生機能や設定を利用する 43
■再生している画像にスケールを表示させる 43
■医師ID、患者IDを初期化する 44
■動画再生時の音量を設定する 44
外部モニターで画像を見る 45

カメラとパソコンを接続する（無線接続） 46

無線モードについて 47
最初に無線接続の設定をする 48
■画像をパソコンに送信する . . . . . （自動転送） . . . 50
■無線接続時のカメラのパスワードを変更する 51

パソコンを利用する 52

パソコンを使ってできること 52
Windowsパソコンを利用する 52
■画像をパソコンに保存する／パソコンで見る 52
Macintoshを利用する 56
■画像をパソコンに保存する／パソコンで見る 56
ファイルとフォルダーについて 58
メモリー内のデータについて 59

その他の設定について 60

その他の設定を変更する 60
- 無線の設定をする 60
- 撮影モードの選択候補を設定する 60
- 静止画のサイズを設定する 60
- 液晶モニターの明るさを変える 60
- カメラの音を設定する 61
- カメラの日時を設定し直す 61
- 日付の表示の並びを変える 61
- 表示言語を切り替える 61
- ホワイトバランス調整 61
- 医師IDを設定する 62
- 患者IDを設定する 62
- UVのON/OFF設定 62
- ごみ箱機能設定 62
- サムネイル表示の日付ラベル設定 62
- ロックNo.設定 62
- メモリーをフォーマットする 63
- 各種設定を購入直後の設定に戻す 63
- カメラのファームウェアのバージョンを確認する 63

付録 64

使用上のご注意 64
電源について 71
- 充電について 71
- 電池に関するご注意 71

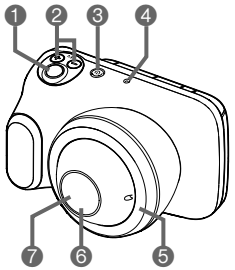
メモリーカードについて 72
リセット操作でリセットされる内容 73
故障かな？と思ったら 74
- 現象と対処方法 74
- 画面に表示されるメッセージ 77

撮影可能枚数／撮影可能時間 78
主な仕様／別売品 79
索引 82
アフターサービス窓口について 83

各部の名称

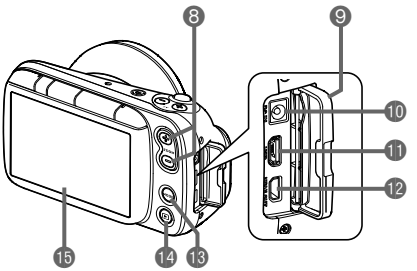
各部の説明が記載されている主なページを( )内に示します。

前面



❶シャッター
❷EVボタン(露出補正)
❸【⏻】(電源)ボタン/
動作確認インジケーター
❹マイク
❺LEDライト(レンズ周辺)
❻レンズ※
❼LEDライト(レンズ内部)

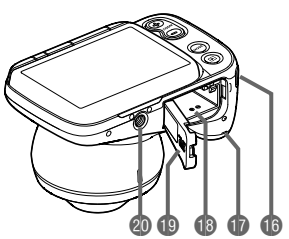
後面



❽ズームボタン(23、24、35、42ページ)
❾端子カバー
❿【DC IN】ジャック
⓫【USB】端子(53ページ)
⓬【HDMI OUT】端子
⓭【MODE】ボタン
⓮【▶】(再生)ボタン
(17、22、24ページ)
⓯液晶モニター(8、10、22ページ)

※ 健常な皮膚または粘膜、および損傷した皮膚または粘膜に直接接触します。(B形装着部)

底面



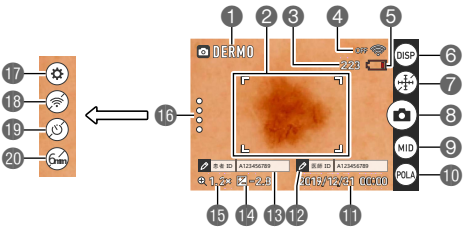
⓰ストラップ取り付け部
⓱スピーカー
⓲電池/メモリーカード挿入部(11、15ページ)
⓳電池カバー
⓴三脚穴
三脚に取り付けるときに使用します。

液晶モニターの表示内容と切り替えかた

液晶モニターには、さまざまな情報がアイコンや数字などで表示されます。

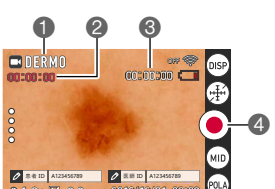
- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

■ 静止画撮影時



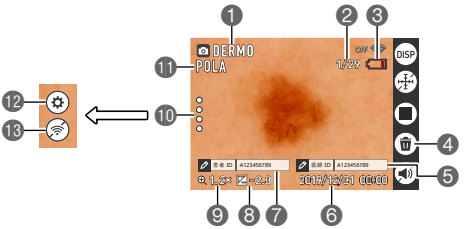
❶撮影モード(29ページ)
❷フォーカスフレーム(23ページ)
❸静止画撮影可能枚数(78ページ)
❹無線の通信状況(47ページ)
❺電池残量表示(14ページ)
❻情報表示切替アイコン(10ページ)
❼スケール表示アイコン(37ページ)
❽撮影アイコン(23ページ)
❾ライト切替アイコン(38ページ)
❿フィルター切替アイコン(38ページ)
⓫日付／時刻(19、61ページ)
⓬医師ID(62ページ)
⓭患者ID(62ページ)
⓮露出補正値(34ページ)
⓯デジタルズーム(35ページ)
⓰ (呼び出し)アイコン
(39、41、48、49、60ページ)
⓱設定アイコン
(41、48、49、51、60ページ)
⓲無線接続切替アイコン(60ページ)
⓳セルフタイマーアイコン(38ページ)
⓴アダプター切替アイコン(39ページ)

■ 動画撮影時



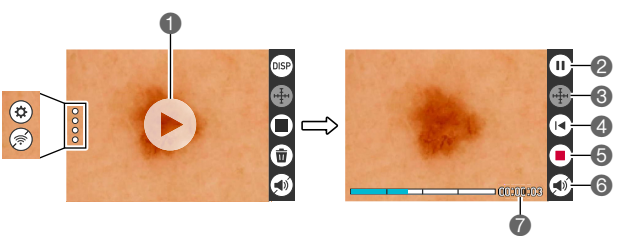
❶撮影モード(29ページ)
❷動画の撮影時間
❸動画の残り撮影時間(78ページ)
❹録画スタートアイコン(32ページ)

■ 静止画再生時



❶撮影モード(29ページ)
❷画像枚数(枚目/総画像枚数)
(78ページ)
❸電池残量表示(14ページ)
❹ごみ箱アイコン(25、62ページ)
❺医師ID(62ページ)
❻撮影日時(19、61ページ)
❼患者ID(62ページ)
❽露出補正値(34ページ)
❾撮影時の倍率(35ページ)
❿ (呼び出し)アイコン
(39、41、48、49、60ページ)
⓫撮影時のフィルター(38ページ)
⓬設定アイコン
(41、48、49、51、60ページ)
⓭無線接続切替アイコン(60ページ)

■ 動画再生時



❶再生スタートアイコン(24ページ)
❷一時停止アイコン
❸スケール表示アイコン(43ページ)
❹巻き戻しアイコン
❺動画再生停止アイコン
❻動画音量設定アイコン(44ページ)
❼動画再生時間(78ページ)

■ 液晶モニターの表示内容を切り替える

㊀(情報表示切替)をタップするごとに、画面に表示される情報表示の有無が選べます。撮影モード、再生モードでそれぞれ設定できます。

撮影モード

情報表示あり	設定内容などの情報が表示されます。
情報表示なし	設定内容などの情報が表示されません。

再生モード

情報表示あり	撮影時の設定内容や日付／時刻などの情報が表示されます。
情報表示なし	撮影時の情報が表示されません。

はじめにご覧ください(基本的な操作)

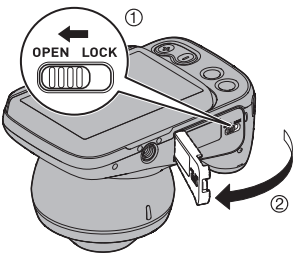
箱を開けたら、電池を充電する

お買い上げ直後は、電池はフル充電されていません。次の手順でカメラに電池を入れた後に充電してください。

- 本機は、当社の専用リチウムイオン充電池(DNP-100M)を電源として使用します(DNP-100M以外の電池は使用できません)。

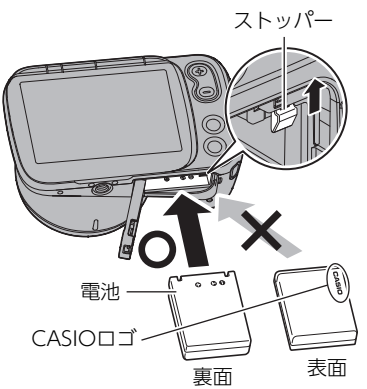
電池を入れる

1. 電池カバーを開ける

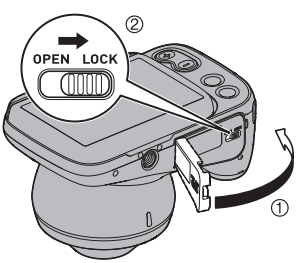


2. 電池を入れる

電池のCASIOロゴのある面を下(レンズ側)にして、電池の側面でストッパーを矢印の方向にずらしながら電池を入れます。ストッパーが電池にかかるまでしっかり押し込んでください。

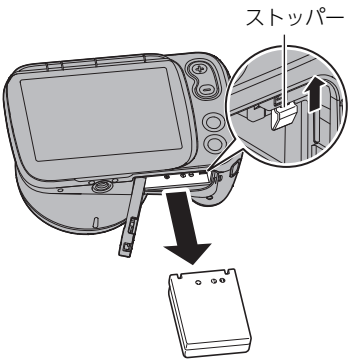


3. 電池カバーを閉める



電池を交換する

1. 【⏻】(電源)を押して電源を切り、電池カバーを開ける
2. 電池を取り出し、新しい電池を入れる
3. 電池カバーを閉める



重要

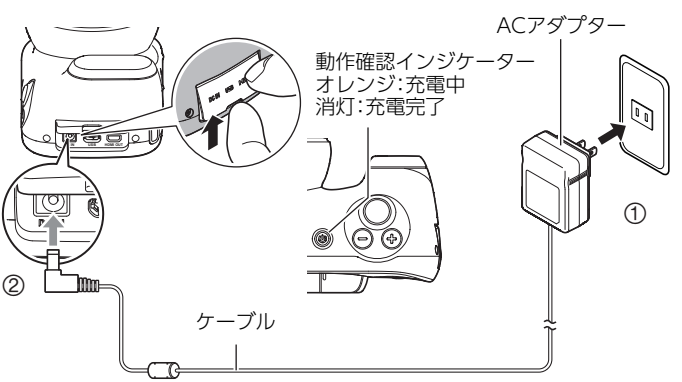
- 【⏻】(電源)を押して電源を切ったとき、動作確認インジケーター(7ページ)が緑色に点滅している間は電池を取り出さないでください。データが消えたり、変化したりすることがあります。

充電する

電池の充電方法には、次の2種類の方法があります。
①本体充電用ACアダプター(AD-M50300A)で充電する
②充電器セット(DCS-100M(別売品))で充電する

■ 本体充電用ACアダプターで充電する

電池をカメラに装着したまま充電します。
カメラの電源が切れた状態で、①、②の順に接続します。
充電時間:約4時間30分



- カメラからアダプターを外す場合は、必ずカメラ側(上の図の②)から先に外してください。

重要

- 本体充電用ACアダプターがカメラと接続された状態で【⏻】(電源)ボタンを押すと、カメラが起動します。このとき、充電は停止します。
- 充電中、本体充電用ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。

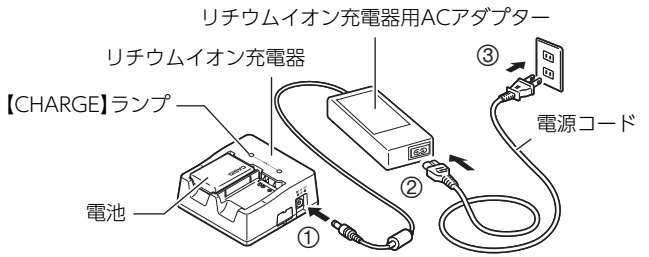
動作確認インジケーターの動作

動作	内容
オレンジ点灯	充電中
赤点滅	周辺温度の異常／ACアダプターの異常／電池の異常(71ページ)
消灯	充電完了

■ 充電器セット (DCS-100M(別売品))で充電する

- 充電器セット(DCS-100M)には、リチウムイオン充電器、リチウムイオン充電器用ACアダプター、電源コードが含まれます。
- 電池をカメラから取り外して充電します。
- 電池と充電器の極性(⊕、⊖)を合わせて電池を充電器にセットし、①、②、③ の順に接続します。

  充電時間:　1 個を装着した場合　約 5 時間 30 分
  　　2 個を装着した場合　約 10 時間



その他充電についてのご注意

- リチウムイオン充電池(DNP-100M)は本書指定の方法で充電してください。
- 使用直後の熱くなった電池は、十分に充電されない場合があります。電池が冷えるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用しない場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。その場合、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。
- 充電器セット(DCS-100M)は本機以外には使用しないでください。
- 充電は、本書で指定した機器をご使用ください。指定以外の機器で充電した場合は、正しく充電できないことがあります。
- 本機を電源から切り離したい場合は、コンセントからACアダプターを外してください。
- ACアダプターの着脱を妨げる場所に本機を置かないでください。
- ACアダプターを使用する際、濡れた手で操作しないでください。
- 患者使用環境での充電は、本体充電用ACアダプター(AD-M50300A)にて充電してください。

電池の残量を確認するには

電池が消耗すると、液晶モニターに表示される電池残量表示が下記のように変化します。

電池の残量	多い ←						少ない
電池残量表示	→	→	→	→	→	→	
残量表示の色	白	→ 白	→ 白	→ 白	→ 赤	→	赤

は電池残量が少ないことを表しています。早めに充電してください。

の状態では撮影できません。すぐに充電してください。

- 撮影モードと再生モードを切り替えた場合、電池残量表示の状態が変わることがあります。
- 電池が入っていない、または消耗している状態でカメラを約20日放置すると、日時の設定がリセットされます。新たに電源を入れたとき、日付の設定をお知らせする画面が表示されますので、日付を設定してください(61ページ)。
- 電池寿命と撮影枚数に関しては80ページをご覧ください。
- ACアダプターで充電中にカメラの電源を入れると、電池残量表示は (給電中)を表示します。

電池を長持ちさせるために

消費電力をおさえるため、本機にはスリープ機能とオートパワーオフ機能があります。

- スリープ機能
  撮影モードで約1分間何も操作しないと、スリープ状態になり、液晶モニターとLEDライトが消灯します。スリープ状態を解除するにはいずれかのボタンを押します。
- オートパワーオフ機能
  本機を使用中に約5分間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

メモリーカードを準備する

撮影する画像を保存するため、市販のメモリーカードをご用意ください（本機にメモリーカードは付属していません）。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

• 保存できる映像の数量については78ページをご覧ください。

■ 使用できるメモリーカードの種類

– SDメモリーカード
– SDHCメモリーカード
– SDXCメモリーカード

• 使用できるメモリーカードの種類は2019年3月現在のものです。
• SD規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、SDメモリーカードが2GB以下、SDHCメモリーカードが2GB超～32GB以下、SDXCメモリーカードが32GB超～2TB以下となります。
上記のメモリーカードであっても容量をはじめ、すべてのカードで動作を保証するものではありません。

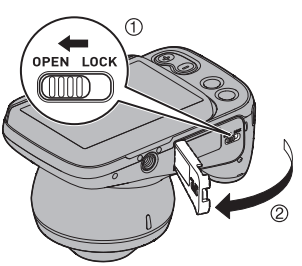
当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、D'z IMAGE STORE（https://dz-image-store.casio.jp/）の「サポート」にある「Q&A」をご覧いただくか、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

■ メモリーカードのご使用上の注意

メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録に時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断したりする場合があります。

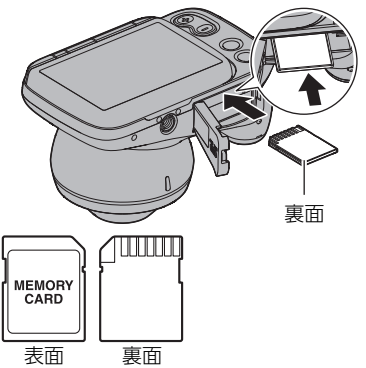
メモリーカードを入れる

1. 【⏻】（電源）を押して電源を切り、電池カバーを開ける

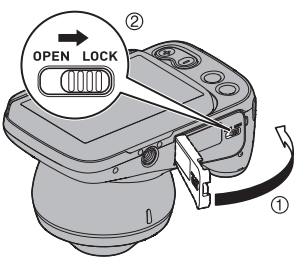


2. メモリーカードを入れる

メモリーカードの裏面を上(液晶モニター側)にして、メモリーカード挿入口にカチッと音がするまで押し込みます。



3. 電池カバーを閉める

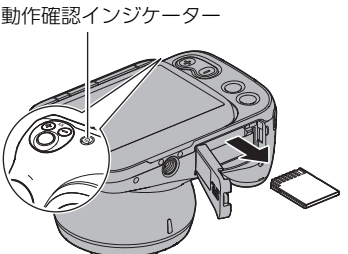


重要

- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(15ページ)以外のものは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。

メモリーカードを交換する

メモリーカードを押すとカードが少し出てきますので、引き抜いて別のメモリーカードを入れます。



重要

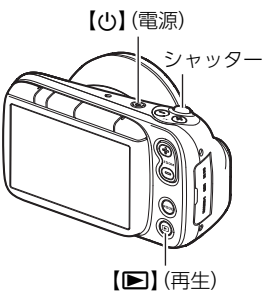
- メモリーカードの交換は、カメラ本体の電源を切ってから行ってください。
- 【⏻】(電源)を押して電源を切ったとき、動作確認インジケーターが緑色に点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像が記録されなかったり、メモリーカードを破壊したりする恐れがあります。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

【⏻】(電源)を押すと、撮影モードになり、撮影できる状態になります。
この状態で、【▶】(再生)を押すと再生モードになり、撮影した静止画や動画を見ることができます(24、42ページ)。

- 【▶】(再生)を押すと、再生モードで電源が入ります。
- 再生モード中に【▶】(再生)またはシャッターを押すと、撮影できる状態に戻ります。



■ 電源を切る

【⏻】(電源)を押します。

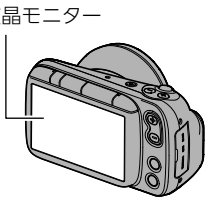
- スリープ機能(14ページ)、オートパワーオフ機能(14ページ)により、一定時間操作しないと、自動的に液晶モニターが消灯したり電源が切れたりします。

参考

- 液晶モニターを開くことで、電源を入れることもできます。

タッチパネルを使う

本機の液晶モニターはタッチパネルになっています。指を使用して、さまざまな操作ができます。



タップ

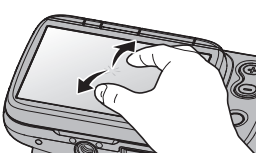
画面に触れて離します。
アイコンやメニュー項目を選んだり、設定したりします。

スワイプ

画面を触り、上下左右にはじくように指を動かします。
前後の画像を表示するときなどに使用します。

ピンチアウト

画面を2本の指で触り、触ったまま指を広げます。
画像を拡大して表示します。



ピンチイン

画面を2本の指で触り、触ったまま指を狭めます。
画像を縮小したり、画像の一覧を表示します。

重要

- 先がとがったものや硬いもので押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- タッチパネルは爪では認識しづらいので、指の腹で操作してください。

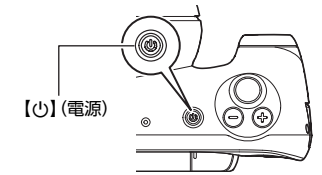
参考

- 市販の液晶保護シートを貼ると、操作が感知されにくくなります。

最初に電源を入れたら表示言語と日時を設定する

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは

表示言語と日時を設定する画面が表示されます。日時を設定しないと、撮影した画像に正しい日時が記録されません。

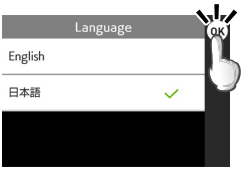


1. 【⏻】(電源)を押して電源を入れる

2. 表示言語を設定する

画面に表示される言語(Englishまたは日本語)を選び、㊎をタップします。

本書は、表示言語を「日本語」に設定した状態で説明しています。



表示言語は、設定し直すことができます。61ページをご覧ください。

3. 日付と時刻を合わせる

年、月、日、時、分、am(pm)/24hをタップし、上下スワイプで値を変更します。

4. 日付／時刻合わせが終了したら、㊎をタップして設定を終了する

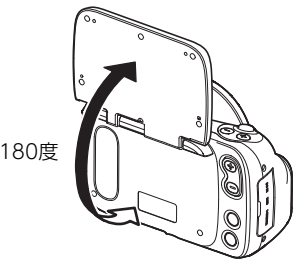
日付／時刻を間違って設定した場合、上記の手順では直せません。61ページをご覧になり、設定し直してください。

参考

- 時計を設定しても、すぐに電池を抜くと、設定した時刻がリセットされる場合があります。時計を設定後、24時間以上は電池を入れたままにしておいてください。

液晶モニターを開閉する

本機の液晶モニターは、上部を軸に180度開きます。



■ 液晶モニターを開ける

図のように液晶モニター下部の中央部Ⓐに指をかけて上に持ち上げ、回転させるように開いてください。

- 液晶モニターの上部からは開きません。必ず図のように下部から開いてください。

重要

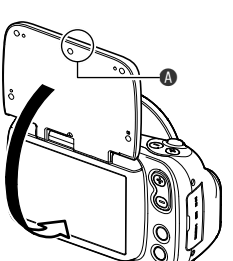
- 液晶モニターを開くとカメラの電源が入ります。
- 液晶モニターを閉じるときは、液晶モニターの上部または下部に指などをはさまないようにご注意ください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。

参考

- カメラを使用しないときは、液晶モニターを閉じてください。

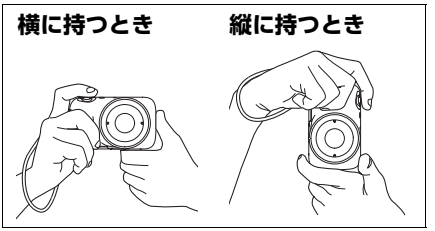
■ 液晶モニターを閉じる

図のように液晶モニター下部の中央部Ⓐを持って、回転させるように閉じてください。



カメラの正しい構えかた

シャッターを押すときにカメラがぶれると、きれいな画像が撮れません。
右の図のように持ち、脇をしっかり締めて正しく構えてください。シャッターを静かに押し、シャッターを押し切った瞬間とその直後はカメラが動かないようにしてください。

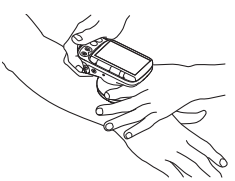


■ 患部の周辺を撮影する

病変のある部位にカメラを向けて撮影します。
(撮影)をタップする、またはシャッターを押すときにカメラがブレないよう固定して患部全体を撮影してください。

■ 患部を接写する

レンズの汚れをふき取ってください。
レンズ※を患部に直接当てて撮影します。(ジェルを使用することも可能です。)
(撮影)をタップする、またはシャッターを押すときにカメラがブレないよう固定して病変の拡大画像を撮影してください。
※ 健常な皮膚や粘膜、または損傷した皮膚や粘膜にレンズが直接接触します。



参考

- 撮影時はカメラをしっかり支え、落下などに注意してください。
- 誤ってカメラを落とすことのないように、ストラップを取り付け、指や手首にストラップをかけて操作してください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。

撮影する

撮影モードを設定する

本機には7つの撮影モードがあり、目的に応じて切り替えることができます。
NORMAL、DERMO CONT、DERMO、DERMO AIF、NORMAL(動画)、
DERMO(動画)、MICROSCOPE

- 各モードの詳細は「撮影モードを設定して静止画や動画を撮影する」(29ページ)をご覧ください。
- 撮影モードの候補は、表示・非表示を設定できます(60ページ)。

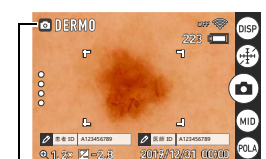
1. 【⏻】(電源)を押して電源を入れる

撮影モードになり、カメラが撮影できる状態になります。

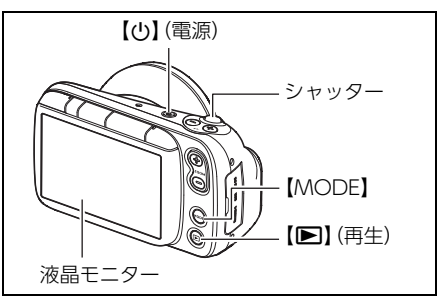
- 再生モードになっているときは、【▶】(再生)またはシャッターを押してください。

2. 【MODE】を押して撮影モードを選択する

【MODE】を押すたびに、以下の順で切り替わります。
NORMAL→DERMO CONT→DERMO→DERMO AIF→
NORMAL(動画)→DERMO(動画)→MICROSCOPE



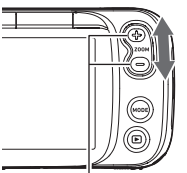
撮影モードの種類



撮影する

1. カメラを被写体に向ける、または患部にレンズを直接当てる

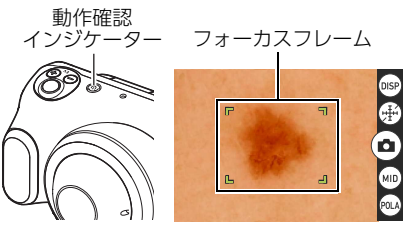
- ズームの倍率を変更できます。



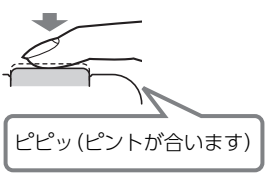
ズームボタン

2. シャッターを半押ししてピントを合わせる

ピントが合うと“ピピッ”と音がして、動作確認インジケーターとフォーカスフレームが緑になります。



半押し　軽く押して止まるところまで

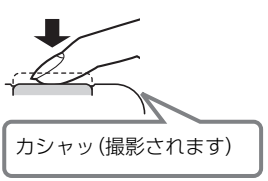


シャッターを半押しすると、カメラを向けている被写体に対して自動的に露出やピントを合わせます。どのくらいの力で押し込むと半押しになるかを覚えるのが、きれいな静止画を撮影するコツです。

3. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

静止画が撮影されます。

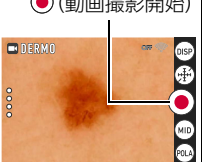
全押し　最後まで



動画を撮影するには

●をタップすると動画の撮影が開始されます。■をタップすると終了します。
動画撮影の詳細は32ページをご覧ください。

●（動画撮影開始）



- をタップして、撮影することもできます。

■ ピントが合っていない場合

フォーカスフレームが赤になっているときは、ピントが合っていません。もう一度カメラを被写体に向ける、または患部にレンズを当ててピントを合わせてみてください。

撮影した静止画や動画を見る

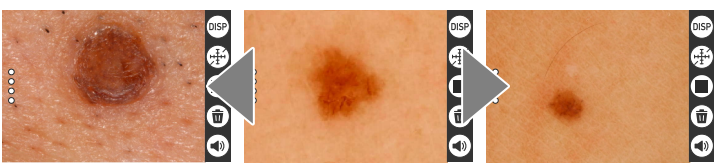
撮影した静止画や動画を液晶モニターで見ることができます。

1. 【▶】(再生)を押して、再生モードにする

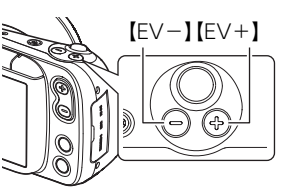
【▶】(再生)

- 記録されている静止画または動画の1つが液晶モニターに表示されます。
- 表示されている静止画または動画についての情報も表示されます(9ページ)。
- 情報表示を消して、静止画または動画だけを見ることもできます(10ページ)。
- 画像をピンチアウトする、またはズームボタン(+)を押すと画像を拡大して表示します(42ページ)。

2. スワイプ操作で前後の画像に切り替える



- 【EV+】【EV−】で前後の画像に切り替えることもできます。
- 動画を再生するときは、動画ファイルを表示して画面中央の▶をタップします。



参考

- 再生モード時にシャッターを半押しすると、すぐに撮影モードに切り替わります。

撮影した静止画や動画を消去する

メモリーがいっぱいになっても、撮影した静止画や動画を消去することによりメモリーの残り容量を確保して、また新しい写真撮影ができるようになります。
- (ごみ箱)をタップして、簡単にファイルを消去することができます。

■ 1ファイルずつ消去する

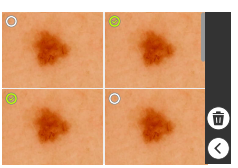
1. スワイプ操作で消去したいファイルを表示させる

2. (ごみ箱)をタップする

3. YESをタップする
- 続けて別のファイルを消去する場合は手順1～3を繰り返します。
- 消去をやめるには、確認メッセージでNOをタップしてください。

■ 選択したファイルを消去する

1. (サムネイル表示切替)をタップして、画像一覧を表示する



2. (ごみ箱)をタップする
- 消去メニューが表示されます。

3. “ファイル選択”をタップする

4. 消去したいファイルをタップして選択する
- 選択したファイルの○にチェックが入ります。

5. 消去したいファイルをすべて選択したら、(ごみ箱)をタップする
- 確認メッセージ“選択したファイル○枚を消去しますか？”が表示されます。

6. YESをタップする
- 選択したファイルは消去されます。
- 消去をやめるには、確認メッセージでNOをタップしてください。

■ すべてのファイルを消去する

1. ⊞(サムネイル表示切替)をタップして、画像一覧を表示する

2. 🗑(ごみ箱)をタップする
- 消去メニューが表示されます。

3. “全ファイル”をタップする
- 確認メッセージ“全ファイルを消去しますか？”が表示されます。

4. YESをタップする
すべてのファイルは消去され、“ファイルがありません”と表示されます。

■ ごみ箱の中のファイルを復元する/消去する

ごみ箱機能をON(62ページ)にすると、削除した画像は一旦ごみ箱に移動します。ごみ箱の中のファイルを復元、または消去することができます。

選択したファイルを元に戻す場合

1. ⊞(サムネイル表示切替)をタップして、画像一覧を表示する

2. 🗑(ごみ箱)をタップする
- 消去メニューが表示されます。

3. “ごみ箱確認”をタップする
- ごみ箱に移動したファイルを表示します。

4. 元に戻したいファイルをタップして選択する
- 選択したファイルの○にチェックが入ります。

5. ⊞をタップする
- 選択したファイルは再生画面に復元されます。

選択したファイルを消去する場合

1. (サムネイル表示切替)をタップして、画像一覧を表示する

2. (ごみ箱)をタップする
- 消去メニューが表示されます。

3. “ごみ箱確認”をタップする
- ごみ箱に移動したファイルを表示します。

4. ごみ箱から消去したいファイルをタップして選択する
- 選択したファイルの○にチェックが入ります。

5. をタップする
- 確認メッセージ“選択したファイル○枚を消去しますか？”が表示されます。

6. (YES)をタップする
- 選択したファイルは完全に消去されます。

■ ごみ箱を空にする

1. (サムネイル表示切替)をタップして、画像一覧を表示する

2. (ごみ箱)をタップする
- 消去メニューが表示されます。

3. “ごみ箱を空にする”をタップする
- 確認メッセージ“すべてのファイルを完全に削除しますか？”が表示されます。

4. (YES)をタップする
- すべてのファイルは完全に消去されます。

撮影時のご注意

操作について

- 動作確認インジケーターが緑に点滅しているときに電池カバーを開けないでください。撮影した画像が正しく保存されない、記録されている画像が壊れてしまう、カメラが正常に動作しなくなる、などの原因になります。

■ オートフォーカスの制限事項

- 次のような被写体や条件では、ピントが正確に合わないことがあります。
  - コントラストが低い被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 手ブレをしているとき
  - 撮影範囲外の被写体
  - レンズが汚れているとき

撮影する

撮影モードを設定して静止画や動画を撮影する

本機には7つの撮影モードがあり、目的に応じて切り替えることができます。

撮影モード	設定内容
NORMAL	患部とその周辺の通常撮影をするときに使用します。
DERMO CONT	ワンシャッターで、同一画角の偏光／非偏光／UV※の接写をするときに使用します。 ※波長が405nmで安全な光を使用しています。 UV設定がオンのとき、UV撮影を行います。
DERMO	患部の接写をするときに使用します。
DERMO AIF	高さのある患部全体にピントを合わせた接写をするときに使用します。 ワンシャッターで、ピントをずらしながら撮影した複数の画像を1枚に合成します。 この撮影には、別途、立体アダプター(別売品)が必要となります。
NORMAL	患部とその周辺の動画を撮影するときに使用します。
DERMO	患部を接写した動画を撮影するときに使用します。
MICROSCOPE	顕微鏡で見る病理組織などを撮影するときに使用します。 この撮影には、別途、顕微鏡アダプター(DMS-100M(別売品))が必要となります。

1. 【⏻】(電源)を押して電源を入れ、撮影モードにする

- 再生モードの場合は、【▶】(再生)またはシャッターを押して、撮影モードに切り替えてください。

2. 【MODE】を押して撮影モードを選択する

【MODE】を押すたびに、以下の順で切り替わります。
NORMAL→DERMO CONT→DERMO→DERMO AIF→
NORMAL(動画)→DERMO(動画)→MICROSCOPE

NORMALモードで撮影する（NORMAL）

臨床用の静止画を撮影します。通常の静止画撮影に適しています。

1. 撮影モードを“NORMAL”にする

2. カメラを被写体に向け、シャッターを半押ししてピントを合わせる

3. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

- 静止画が撮影されます。
- ◉をタップして、撮影することもできます。

DERMO CONTモードで撮影する（DERMO CONT）

ワンシャッターで、同じ画角の3タイプの静止画を撮影します。

• 同時に撮影する3タイプの画像

偏光画像	被写体表面に発生する光の乱反射を防いだ画像
非偏光画像	通常の撮影画像
UV画像	UV(405nm)を照射した撮影画像

参考

• UV画像を撮影するには、UV設定をONにする必要があります。UV設定については、「その他の設定について」(60ページ)の「UVのON/OFF設定」(62ページ)をご覧ください。

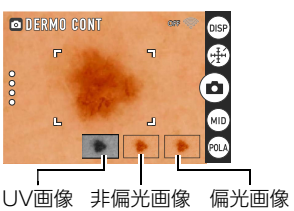
1. 撮影モードを“DERMO CONT”にする

2. カメラのレンズを患部に直接当て、シャッターを半押ししてピントを合わせる

3. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

• 3タイプの静止画が撮影されます。

• をタップして、撮影することもできます。



DERMOモードで撮影する（DERMO）

患部接写用の静止画を撮影します。

1. 撮影モードを“DERMO”にする

2. カメラのレンズを患部に直接当て、シャッターを半押ししてピントを合わせる

3. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

• 接写した静止画が撮影されます。

• をタップして、撮影することもできます。

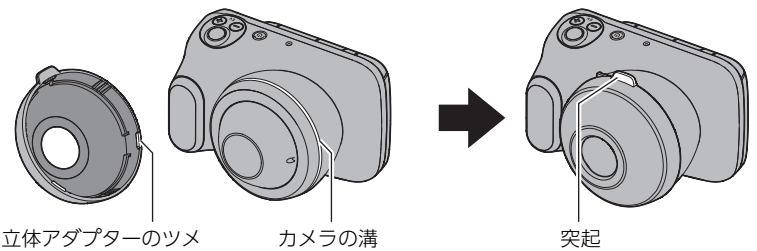
DERMO AIFモードで撮影する（DERMO AIF）

立体アダプター(別売品)を装着して、異なるピント位置で撮影した複数の静止画を合成し、広い範囲にピントが合った1枚の静止画を撮影します。
全体にピントが合いにくい病変の撮影に適しています。

1. 立体アダプターをカメラに装着する

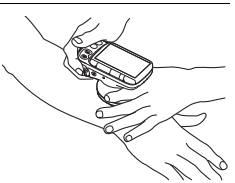
立体アダプターのツメを、カメラの溝に確実にはめ込みます。

取り付けイメージ図
立体アダプター装着時



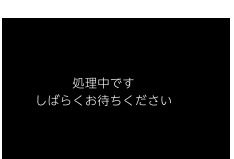
2. 撮影モードを“DERMO AIF”にする

3. 立体アダプターの先端を患部に直接当て、シャッターを半押ししてピントを合わせる



4. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

- 接写した静止画が撮影されます。
- ⓒをタップして、撮影することもできます。



複数枚の静止画を合成処理中は、左記の画面が表示されます。

合成処理が完了すると、画面右下に合成した静止画のサムネイルが表示されます。

5. 立体アダプターを取り外す

立体アダプターの突起をつまんで、カメラから外してください。

参考

- DERMOモードとは撮影画角が異なります。
- 記録画素数は4368×3280になります。
- 次のような被写体や条件では、うまく画像合成できないことがあります。
  - 手ブレや被写体ブレが起きたとき
  - コントラストが高い被写体
  - 凹凸が1mm以上ある被写体

動画NORMALモードで撮影する（NORMAL（動画））

臨床撮影用の動画を録画します。

1. 撮影モードを“NORMAL”にする

2. カメラを被写体に向け、◉をタップする

- 動画撮影を開始します。

3. ◉をタップして撮影を終了する

動画DERMOモードで撮影する（DERMO（動画））

患部接写用の動画を録画します。

1. 撮影モードを“DERMO”にする

2. カメラのレンズを患部に直接当て、◉をタップする

- 動画撮影を開始します。

3. ◉をタップして撮影を終了する

参考

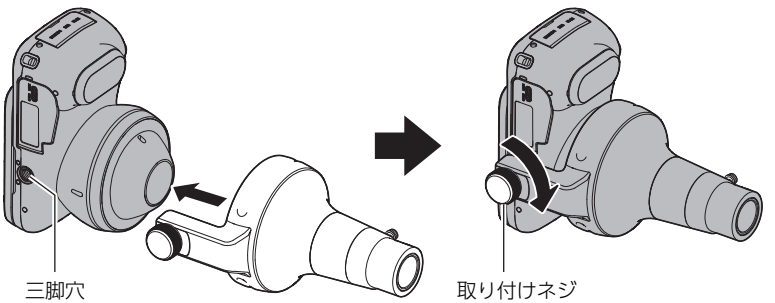
- シャッターを押して録画を開始、終了することもできます。
- 動画撮影中は常にオートフォーカスが動作します。

MICROSCOPEモードで撮影する（MICROSCOPE）

顕微鏡アダプター(DMS-100M(別売品))を装着し、カメラを顕微鏡に取り付けて静止画を撮影します。

1. 顕微鏡アダプターをカメラに装着する

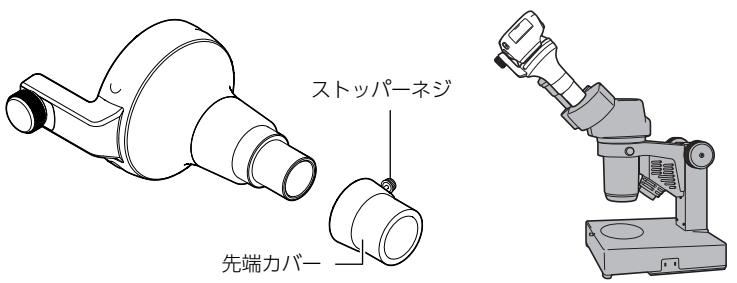
顕微鏡アダプターをカメラに装着し、顕微鏡アダプターの取り付けネジをカメラの三脚穴に固定します。



2. カメラを顕微鏡に取り付ける

顕微鏡アダプターの接眼レンズのサイズは2種類(φ30、φ23.2)です。
φ30の接眼レンズを装着するときは、先端カバーを付けたまま使用します。
φ23.2の接眼レンズを装着するときは、ストッパーネジを緩めて、先端カバーを外します。

取り付けイメージ図
顕微鏡に装着時



3. 撮影モードを“MICROSCOPE”にする

4. カメラの液晶モニターを見ながら、顕微鏡でピントを調整する

5. シャッターを半押ししてピントを合わせる

6. シャッターを最後まで押し込む

- 静止画が撮影されます。
- ⓒをタップして、撮影することもできます。

7. 顕微鏡アダプターを取り外す

顕微鏡の接眼レンズから、顕微鏡アダプターを抜きます。
顕微鏡アダプターの取り付けネジを緩めて、カメラから顕微鏡アダプターを取り外します。

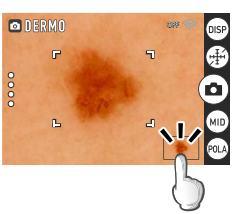
参考

- 顕微鏡アダプターは接眼レンズの約10倍に相当します。
- お持ちの顕微鏡の接眼レンズ(φ30またはφ23.2)に合わせてご使用ください。

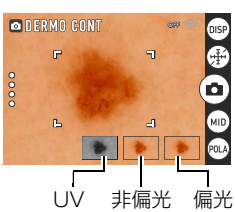
撮影直後の画像を表示する

撮影後、画面の右下に撮影画像のサムネイルが表示されます。

DERMO CONT以外のモードの場合



DERMO CONTモードの場合



UV　非偏光　偏光

サムネイルをタップして、再生画像を表示させます。

明るさを補正する(露出補正)

撮影時の明るさに応じて、露出補正値(EV値)を手動で補正できます。
– 露出補正値:−2.0EV〜+2.0EV
– 補正単位:0.1EV

1. 【EV+】【EV−】を押して露出値(EV値)を補正する

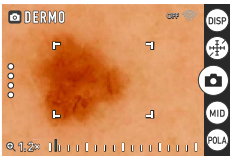
【EV+】:EV値を0.1単位で+に補正します。画像を明るくしたいときに押します。
【EV−】:EV値を0.1単位で−に補正します。画像を暗くしたいときに押します。

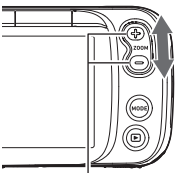
ズーム撮影する

デジタルズーム(画像中央をデジタル処理で拡大する方法)で8.0倍までのズーム撮影ができます。

1. 撮影モードにして、ピンチインで縮小、ピンチアウトで拡大する

- ズームボタンでも倍率を変更できます。





ピンチイン・ピンチアウト

ズームボタン

2. をタップする、またはシャッターを押して撮影する

参考

- 動画撮影中もズーム操作ができます。

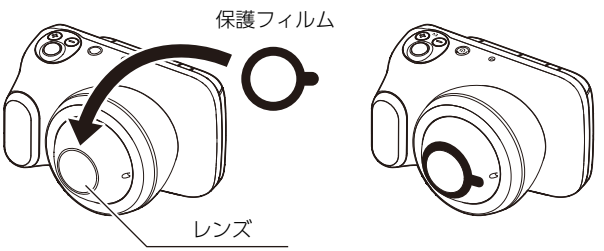
保護フィルムを貼って撮影する

保護フィルム (DFP-100M (別売品))をカメラのレンズに貼り付けて、傷や汚れから保護することができます。

- ご使用前に、保護フィルムに同梱された「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

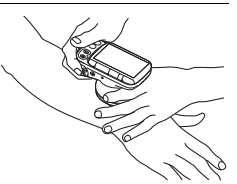
1. 保護フィルムをカメラに貼り付ける

台紙から保護フィルムを取り外し、カメラのレンズに貼り付けてください。
ご使用される際には、保護フィルム表面の青いシートを剥がしてください。



2. 撮影モードを“DERMO CONT”または“DERMO”にする

3. 保護フィルムを患部に直接当て、シャッターを半押ししてピントを合わせる



4. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

- 接写した静止画が撮影されます。
- をタップして、撮影することもできます。

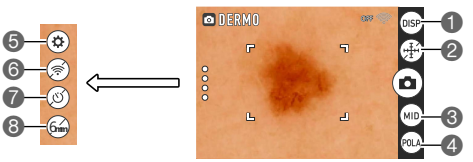
5. 保護フィルムを剥がす

撮影が完了したら、保護フィルムをカメラから剥がしてください。
繰り返してのご使用はお控えください。

よりよい撮影のための設定

本機では、画面アイコンを操作して様々な設定ができます。

撮影設定について



1. 情報表示切替アイコン
2. スケール表示アイコン
3. ライト切替アイコン
4. フィルター切替アイコン
5. 設定アイコン
6. 無線接続切替アイコン
7. セルフタイマーアイコン
8. アダプター切替アイコン

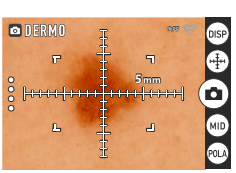
撮影情報を表示する

DISPをタップして、撮影情報を表示します。もう一度タップすると撮影情報が非表示になります。

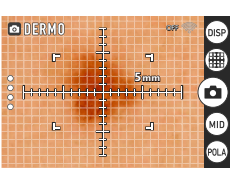
撮影時、液晶モニターにスケールを表示する

をタップして、スケールを表示します。患部の計測に便利です。
もう一度タップすると、スケールとグリッドを表示します。をタップするたびに、スケール表示が切り替わります。

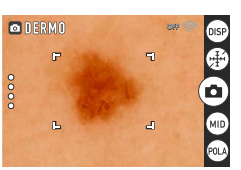
スケール表示



スケール+グリッド表示



スケール非表示



- NORMALモード、NORMAL（動画）モード、MICROSCOPEモードのときは使用できません。

参考

- 液晶モニターに表示されるスケール表示、またはグリッド表示は目安であり、正確な数値ではありません。

ライトの明るさを切り替えて撮影する

AUTOまたはMIDをタップしてライトの明るさを切り替えます。
撮影モードによって切り替えられるライトの設定が異なります。

- NORMAL、NORMAL(動画):AUTOAUTO(初期設定)→LOWLOW→MIDMIDDLE→HIGHHIGH→OFFOFF
- DERMO CONT、DERMO、DERMO AIF、DERMO(動画):MIDMIDDLE(初期設定)→HIGHHIGH→LOWLOW

参考

- MICROSCOPEでは、設定の切り替えはできません。アイコンが表示されます。

フィルターを切り替えて撮影する

POLAをタップして、偏光、非偏光、UVの撮影フィルターを切り替えます。
撮影モードによって切り替えられるフィルターの設定が異なります。

- NORMAL、NORMAL(動画):POLA非偏光(初期設定)→POLA偏光
- DERMO CONT、DERMO、DERMO AIF、DERMO(動画):POLA偏光(初期設定)→POLA非偏光→UVUV(設定が有効の場合)

参考

- MICROSCOPEでは、設定の切り替えはできません。

セルフタイマーを使う

をタップして、セルフタイマーを有効にします。
をタップしてから、またはシャッターを押してから2秒後に静止画を撮影することができます。

参考

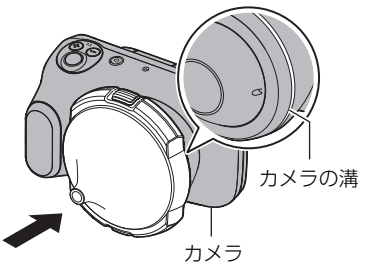
- NORMAL(動画)、DERMO(動画)では、設定の切り替えはできません。

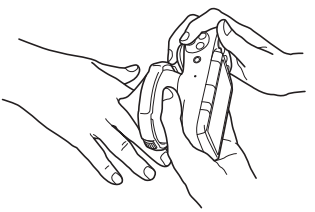
小径アダプターを付けて撮影する

指の間などピントが合わせづらい病変を撮影するときは、小径アダプター（別売品）をカメラに取り付けて撮影します。

1. 小径アダプターをカメラに取り付ける

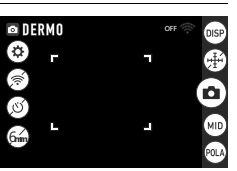
小径アダプターのツメを、カメラの溝に確実にはめ込みます。



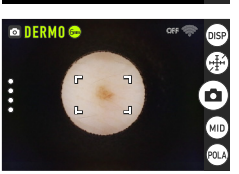


2. 画面左端の ⋮ (呼び出し) をタップして、🔬を選択する

画面左上のモード名が白から緑に変わります。
🔬が表示されます。



3. 小径アダプターのレンズを患部に直接当て、シャッターを半押ししてピントを合わせる

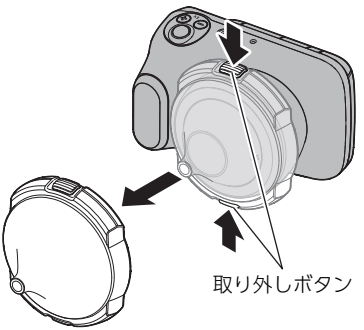


4. カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

- 接写した静止画が撮影されます。
- 📷をタップして撮影することもできます。
- 画面右下に、撮影した静止画のサムネイルが表示されます。

5. 小径アダプターを取り外す

小径アダプターを取り外すときは、側面にある取り外しボタンを押しながら、カメラから外します。



参考

- 撮影画角がずれないように、小径アダプター装着時は、小径アダプターを強く押したり、余計な力を加えたりしないでください。
- NORMAL、NORMAL（動画）、MICROSCOPEでは、小径アダプターは使用できません。
- ズームの倍率の初期設定は3倍です。最大8倍まで拡大できます。また、初期設定の状態からズームアウトすると、構造上、LEDライトの反射が写り込みますが、撮影画像に影響はありません。
- お手入れの際、柔らかい布で先端ガラス部の汚れをふき取ってください。また、小径アダプター内部にホコリが入った場合は、ブロアーなどで吹き払ってください。
- 小径アダプターを装着して撮影すると、装着していないときと比べ、光の照射の違いにより撮影画像の見え方が異なる場合があります。

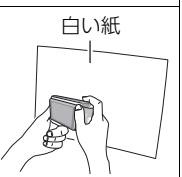
色合いを調整する（ホワイトバランス）

NORMALモードで撮影する静止画および動画のホワイトバランスを調整できます。
NORMALモード以外のモードで撮影する静止画、動画のホワイトバランスの調整はできません。

1. 画面左端の⋮(呼び出し)をタップする

2. ⚙(設定)をタップする
設定メニューが表示されます。

3. “ホワイトバランス”をタップする
ホワイトバランスの設定項目が表示されます。

設定項目	設定内容
オート	自動的にホワイトバランスを調整
昼白色蛍光灯	白色・昼白色蛍光灯下での色かぶりを抑えて撮影したような色合い
昼光色蛍光灯	昼光色蛍光灯下での色かぶりを抑えて撮影したような色合い
電球	電球の雰囲気を消して撮影したような色合い
マニュアル	さまざまな光源下で適正な色に手動で調整 ①撮影場所で画面全体に白い紙を写す ②“マニュアル”を選ぶ ③“完了しました”のメッセージが表示されたら、OKをタップする 

4. 設定項目をタップして選択する

5. OKをタップして、ホワイトバランスの設定を終了する

静止画や動画を再生する

撮影した静止画や動画を見る

操作方法については24ページを参照してください。

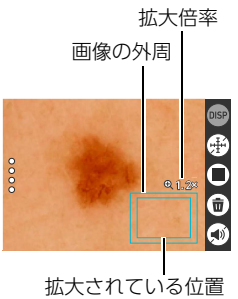
画像を拡大して表示する

1. 再生モードにして、スワイプ操作で再生したい画像を表示させる

2. 画像をピンチアウトする、またはズームボタン（＋）を押して、画像を拡大表示させる

スワイプして、拡大表示される位置を変えることができます。画像をピンチインする、またはズームボタン（－）を押すと、縮小表示されます。

- 液晶モニターに情報を表示しているときは、画像の右下に拡大されている位置が表示されます。
- 最大8倍まで拡大できますが、画像のサイズによっては、8倍まで拡大できないことがあります。



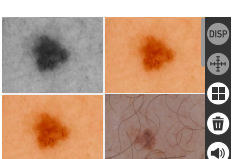
画像を一覧表示する（サムネイル表示）

1. 再生モードにして⊞（サムネイル表示切替）をタップする

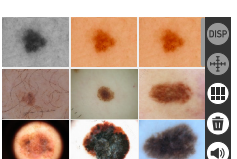
⊞（サムネイル表示切替）をタップして、サムネイル表示の列（2列、3列、4列）の数を切り替えることができます。

通常表示（1枚表示）で見たいときは、見たい画像をタップします。

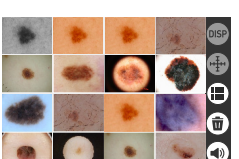
2列（4枚）表示



3列（9枚）表示



4列（16枚）表示



再生時のその他の機能

ここでは再生モードで操作や設定ができる機能について説明します。

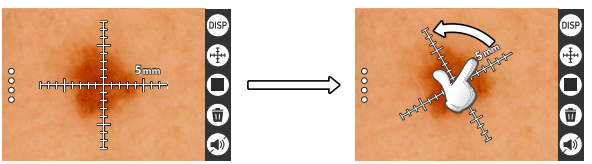
いろいろな再生機能や設定を利用する

再生している画像にスケールを表示させる

スケールを表示させて、患部の大きさを計測できます。

1. 再生モードにして、⊕(スケール表示)をタップする
スケールが画面の中央に表示されます。

2. スケールをタッチして回転させる
計測したい向きにスケールを回転させることができます。



- 回転中は、目盛ラベルは表示されません。

医師ID、患者IDを初期化する

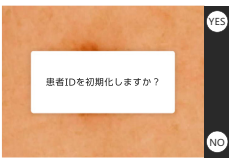
撮影した画像に登録されている医師ID、患者IDを初期化することができます。

1. 医師ID、または患者IDを初期化したい画像を表示する

2. (DISP)をタップして撮影情報を表示させる

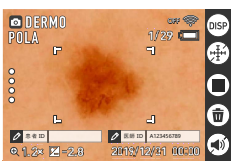
3. 医師ID、または患者IDをタップする

"医師IDを初期化しますか？"または"患者IDを初期化しますか？"のメッセージが表示されます。



4. (YES)をタップする

初期化したIDが空欄になります。

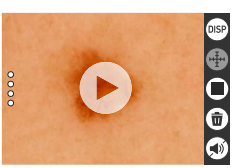


動画再生時の音量を設定する

1. 動画を表示する

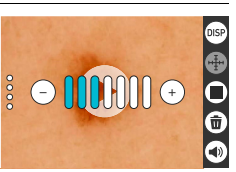
2. (音量)をタップする

音量設定が表示されます。



3. 画面に表示される(−)または(+)をタップして音量を設定する

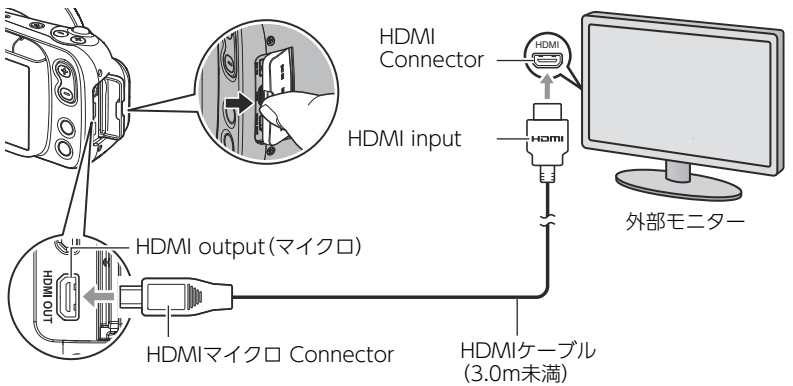
(−)で音量なし(ミュート)にすると(音量)が(ミュート)になります。



外部モニターで画像を見る

1. カメラの電源を切り、市販のHDMIケーブルでカメラと外部モニターをつなぐ

- HDMIケーブル(市販品)は右記のロゴのあるものをお使いください。
- ケーブルの抜き差しは、カメラ本体の電源を切ってから行ってください。外部モニターは、外部モニターの取扱説明書に従って設定をしてから、ケーブルの抜き差しを行ってください。



2. カメラの電源を入れる

液晶モニターに表示している画像が外部モニターに表示されます。

参考

- HDMIケーブルは、3.0m未満で、ハイスピード対応(Ver1.4)のシールド構造を採用している製品をご使用ください。
- 外部モニターは、IEC/UL/CSA/EN60950-1、JIS C 6950-1、またVCCI-B、FCC-B、CEに適合している製品をご使用ください。
- 指定した条件以外の製品を使用した場合、外部からの電磁波に対する耐性の低下、電磁波の不要な放出の増加を引き起こす可能性があります。
- 外部モニターは、患者より1.5m以上離した場所でご使用ください。
- HDMIケーブル接続中はタッチパネルの操作はできません。

カメラとパソコンを接続する(無線接続)

本機はWi-Fi(無線LAN)接続機能を搭載しています。
本機とパソコンを無線で接続すると、撮影した画像をパソコンに送信できます。操作にはパソコンに画像管理ソフトのD'z IMAGE Viewerをインストールする必要があります。

本製品には電波法に基づく工事設計認証(認証番号:007-AH0009)を受けた特定無線設備を内蔵しています。

重要

- パソコンのWindows OSバージョン、ストレージの空き状況によって、動画や静止画がパソコンに保存されないことがあります。パソコンで画像を受信したあとは、パソコンで保存されていることを確認してください。
- 本機以外のカメラで撮影した画像は、送信できません。
- 本機で無線機能付きメモリーカードを使用すると、不具合が生じる可能性があります。

参考

- 無線機能を使用すると、通常よりも消費電力が大きくなります。電池が十分に残っている状態で使用してください。

画像管理ソフトについて

画像管理ソフトD'z IMAGE Viewerは、下記のWebサイトからダウンロードしてください。
動作環境についても、下記のWebサイトでご確認いただけます。

https://dz-image-store.casio.jp/dl/#viewer

ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックします。画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

- ソフトの機能および動作環境は、予告なしで変更される場合があります。

無線モードについて

(無線接続切替)をタップして、無線接続のオンとオフを切り替えます。

■ 無線接続時に画面に表示されるアイコンについて

カメラとパソコンの無線接続設定(60ページ)を行うと、カメラの画面に通信状態を示すアイコンが表示されます。

OFF	無線接続がオフになっています。
AP モード	無線接続がオンになっていて、APモードで接続中です。
ST モード	無線接続がオンで、STATIONモードになっていますが、接続されていません。
XXXXXXXXX	無線接続がオンになっていて、STATIONモードで接続中です。 左の表示の「XXXXXXXXX」の部分には、接続したSSIDを表示します。
AP モード (点滅表示)	無線接続がオンになっていて、APモードで画像データを送信中です。
XXXXXXXXX (点滅表示)	無線接続がオンになっていて、STATIONモードで画像データを送信中です。左の表示の「XXXXXXXXX」の部分には、接続したSSIDを表示します。

最初に無線接続の設定をする

カメラとパソコンを無線で接続するときは、無線接続設定が必要です。この操作は初回のみ必要です。

APモード	カメラとパソコンを無線接続します。
STATIONモード	カメラと無線LANルーターを接続します。
SSID	DZ-D100（初期設定値、APモード時に使用します）
パスワード	00000000（初期設定値、APモード時に使用します） • 個人情報保護のため、変更をおすすめします（51ページ）。

■ APモードで無線接続する場合

1. 画面左端の⋮（呼び出し）をタップする
2. ⚙（設定）をタップする
3. “無線設定”をタップする
4. “無線機能”を“ON”にする
5. “無線モード”で“AP”を選択する

パソコン側の操作については下記のWebサイトにある「Q&A」をご覧ください。

https://dz-image-store.casio.jp/support/

■ STATIONモードで無線接続する場合

1. 画面左端の⋮(呼び出し)をタップする

2. ⚙(設定)をタップする

3. “無線設定”をタップする

4. “無線機能”を“ON”にする

5. “無線モード”で“STATION”を選択する

6. “SSID”をタップする

7. STATIONモード設定画面から、接続したいSSIDを選択する

接続したいSSID名が表示されている場合

1) 接続したいルーターのSSIDを選択して、ルーターのパスワードを入力する
2) (OK)をタップする

接続したいSSID名が表示されていない場合

ステルス設定が有効になっている場合、SSIDは表示されません。ルーターの設定をご確認の上、以下の手順で設定してください。

1) “+ネットワークを追加”をタップする
2) SSID名を入力する
3) ルーターの認証方式を選択する

設定しない	パスワードが設定されていない場合
WEP	WEP方式の場合
WPA/WPA2PSK	WPA-PSK/WPA2-PSK方式の場合

4) ルーターのIPアドレス設定を選択する

DHCP	IPアドレスを自動的に割り当てている場合
固定	IPアドレスを手動で入力する場合 入力内容：固定IPアドレス、ゲートウェイアドレス、ネットワークプレフィックス長

5) (OK)をタップする
STATIONモード設定画面に、追加したSSID名が表示されます。

パソコン側の操作については下記のWebサイトにある「Q&A」をご覧ください。

https://dz-image-store.casio.jp/support/

画像をパソコンに送信する（自動転送）

カメラの無線接続機能と画像管理ソフト“D’z IMAGE Viewer”を使って、撮影した画像をパソコンへ送信します。

1. パソコン画面上の“D’z IMAGE Viewer”の をダブルクリックする

2. 起動画面から「自動転送OFF」をクリックする

「自動転送OFF」から「画像転送中」に切り替わると画像転送が開始されます。

画像の転送が完了すると、(更新)が表示されます。

3. (更新)をクリックする

“D’z IMAGE Viewer”に画像が保存されます。

無線接続時のカメラのパスワードを変更する

カメラにパソコンを無線(APモード)で接続するときに使用するパスワードを変更できます。
個人情報保護のため、パスワードの変更をおすすめします。

重要

- 無線接続時のパスワードの変更は、無線接続を解除してから行ってください。

1. ⚙(設定)をタップする

2. “無線設定”をタップする

3. “SSID”をタップして、パスワードの項目を表示する

4. “パスワード”をタップして、パスワード設定画面を表示する

5. パスワードを変更したら、OKをタップする

参考

- 無線接続時のパスワードを変更すると、パソコンとの接続が解除されます。再度無線接続設定を行ってください。
- パスワードは、未設定のまま、または8文字以上入力してください。

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

パソコンに画像を保存して見る	• 手動でパソコンに保存して見る(USB接続)(52、56ページ)。 • 無線LAN経由で自動的にパソコンに転送して見る(46ページ)。画像管理ソフトD'z IMAGE Viewerのインストールが必要です。
動画を再生する	• 動画を再生することができます(55、57ページ)。

操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(52ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(56ページ)

Windowsパソコンを利用する

お使いのパソコンの性能、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

カメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンに保存したり、パソコンで見ることができます。

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。
画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

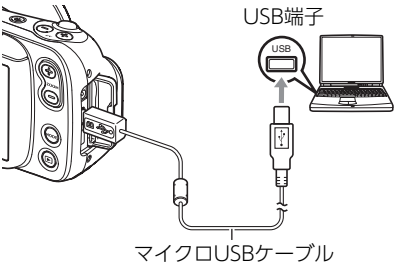
- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの電源を切り、マイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する



- パソコンは、IEC/UL/CSA/EN60950-1、JIS C 6950-1、またVCCI-B、FCC-B、CEに適合している製品をご使用ください。
  指定した条件以外の製品を使用した場合、外部からの電磁波に対する耐性の低下、電磁波の不要な放出の増加を引き起こす可能性があります。
- パソコンは、患者より1.5m以上離れた場所でご使用ください。

本機にマイクロUSBケーブルは付属していません。

---

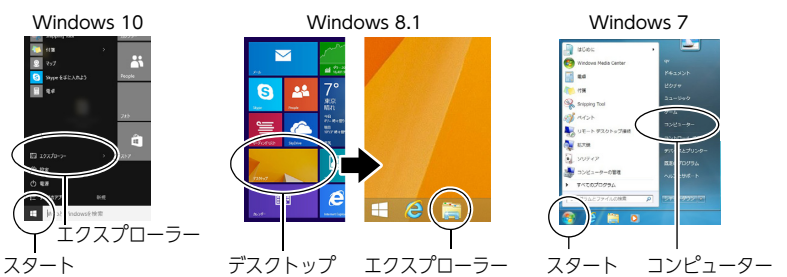
2. 【⏻】(電源)を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認インジケーターが緑点灯に切り替わりますので、確認してください。なお、このとき液晶モニターは点灯しません。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

---

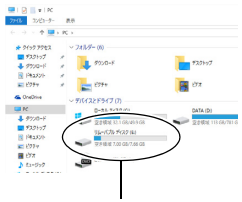
3. Windows 10:“スタート”→“エクスプローラー”の順でクリックし、サイドバーにある“PC”をクリックする
Windows 8.1:“デスクトップ”→“エクスプローラー”の順でクリックする
Windows 7:“スタート”→“コンピューター”の順でクリックする



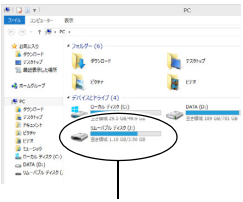
4. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。

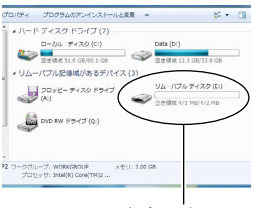
Windows 10



Windows 8.1

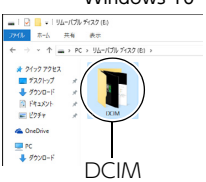


Windows 7

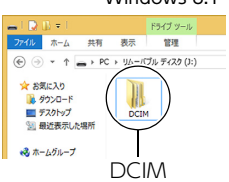


5. “DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックする

Windows 10



Windows 8.1



Windows 7

6. メニューの“コピー”をクリックする

7. Windows 10／Windows 8.1：“ドキュメント”をクリックする
Windows 7：“スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする

- すでに“DCIM”フォルダーが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダーの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

8. Windows 10／Windows 8.1：“ドキュメント”メニューで、“ホーム”→“貼り付け”の順でクリックする
Windows 7：“ドキュメント”メニューで、“整理”または“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダー（画像ファイルが保存されているフォルダー）が“ドキュメント”フォルダーにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

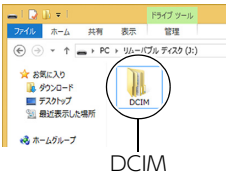
- コピーが完了したら、“DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックし、フォルダーの名前を変更することをおすすめします。

9. コピーが終了したらカメラをパソコンから外す

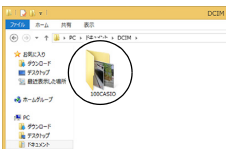
USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. コピーした“DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く



2. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く



3. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(59ページ)を参照ください。

■ 動画再生のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試しください。
  – 開いている他のソフトウェアを閉じる。または常駐ソフトを止める。

なお、パソコンで正しく動作しない場合でも、市販のHDMIケーブルを使ってHDMI端子を持ったテレビで再生できます。

Macintoshを利用する

お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。
画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの電源を切り、マイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する(53ページ)

- パソコンは、IEC/UL/CSA/EN60950-1、JIS C 6950-1、またVCCI-B、FCC-B、CEに適合している製品をご使用ください。
- パソコンは、患者より1.5m以上離れた場所でご使用ください。

本機にマイクロUSBケーブルは付属していません。

2. 【⏻】(電源)を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認インジケーターが緑点灯に切り替わりますので、確認してください。なお、このとき液晶モニターは点灯しません。
パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

3. 表示されたドライブをダブルクリックする

4. "DCIM"フォルダーをデスクトップにドラッグアンドドロップして、画像をパソコンにコピーする

5. コピーが終了したらドライブを“取り出し”または“ゴミ箱”へドラッグアンドドロップする

6. カメラをパソコンから外す

動作確認インジケーターが赤く点滅していないのを確認してから、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. 表示されたドライブをダブルクリックする

2. “DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く

3. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く

4. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(59ページ)を参照ください。

■ 動画再生時のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのMacintoshの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試しください。
  – 実行中の他のソフトウェアを終了する

なお、Macintoshで正しく動作しない場合でも、市販のHDMIケーブルを使ってHDMI端子を持ったテレビで再生できます。

ファイルとフォルダーについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。各ファイルは、「フォルダー」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。ファイル、フォルダーには、区別のための名前が自動的に付きます。

- フォルダー構造の詳細は、「メモリー内のフォルダー構造」(59ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	“CIMG0001”から“CIMG9999”までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダーに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。	26番目に記録したファイル名: CIMG0026.JPG 連番(4桁)　拡張子
フォルダー	“100CASIO”から“999CASIO”までで、最大900のフォルダーが作成されます。	連番100のフォルダー名: 100CASIO 連番(3桁)

- 静止画／動画再生時に、画面の右上に表示されるフォルダー名－ファイル名は下記のような意味となります。
  例) 100-0023:“100CASIO”というフォルダーの23番目のファイル
- フォルダー名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。
- 保存できるフォルダー数、ファイル数は、メモリーカードの容量によって異なります。

メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像は、DCF（Design rule for Camera File system）規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

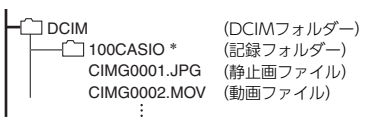
■ DCF規格について

- 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見ることができます。
- 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のプリンターで印刷することができます。
- DCF規格対応の他社のカメラの画像を本機で見ることができます。

ただし、上記項目の動作はすべて保証するものではありません。

■ メモリー内のフォルダー構造

メモリー



■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなることがあります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンに保存する際は“DCIM”フォルダーごと保存してください。その際“DCIM”フォルダーの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンに保存したファイルをカメラに戻す場合は、フォルダー名をパソコン上で“DCIM”に戻しておいてください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダーは認識されません。“DCIM”フォルダー内の他のフォルダー名を変えた場合も同様です。
- フォルダーやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダー構造が59ページのフォルダー構造のとおりである必要があります。

その他の設定について

その他の設定を変更する

ここでは撮影モードと再生モードのどちらでも設定ができるメニュー項目について説明します。

1. 画面左端の⋮(呼び出し)をタップする

2. ⚙(設定)をタップする

3. 設定したい項目を選び、設定内容を決定する

無線の設定をする

項目名: 無線設定

無線機能	ON/OFFを切り替えます。
無線モード	APモード：カメラとパソコンを無線接続します。 STATIONモード：カメラと無線LANルーターを無線接続します。
SSID	DZ-D100（初期設定値、APモード時に使用します）
パスワード	00000000（初期設定値、APモード時に使用します） • 個人情報保護のため、変更をおすすめします(51ページ)。

撮影モードの選択候補を設定する

項目名: 撮影モード

撮影モードを選択するときの切り替え候補の表示(ON)・非表示(OFF)を設定します。

静止画のサイズを設定する

項目名: 静止画サイズ

設定サイズ:20M、12M、5M

初期設定:20M

液晶モニターの明るさを変える

項目名: 液晶設定

設定範囲:−2、−1、0、+1、+2

初期設定:0

カメラの音を設定する

項目名：操作音

起動音	ON:音が鳴ります。 OFF:音は鳴りません。
ハーフシャッター	
シャッター	
操作音	
操作音量	操作音の音量を設定します。 設定範囲:0～7(初期設定:3)

カメラの日時を設定し直す

項目名：日時設定

年、月、日、時、分、am(pm)/24hの項目をタップし、上下スワイプで値を変更します。
日時を変更したあとは、㊆をタップして修正結果を確定させます。

- 入力できる日付は、2018年1月1日～2099年12月31日です。

日付の表示の並びを変える

項目名：表示スタイル

画面に表示される日付の表示スタイルを3つの中から選ぶことができます。
例) 2019年7月10日

年／月／日	19/7/10
日／月／年	10/7/19
月／日／年	7/10/19

表示言語を切り替える

項目名：Language

画面のメッセージの言語を設定します。
日本語とEnglishの切り替えができます。

ホワイトバランス調整

項目名：ホワイトバランス

NORMALモードで撮影する静止画および動画のホワイトバランスを調整できます。
詳細は41ページをご覧ください。

医師IDを設定する

項目名： 医師ID
カメラ起動時に、医師IDを入力するかON/OFFを切り替えます。
医師IDを変更するには、“医師ID”をタップしてIDを登録し直します。

患者IDを設定する

項目名： 患者ID
カメラ起動時に、患者IDを入力するかON/OFFを切り替えます。
患者IDを変更するには、“患者ID”をタップしてIDを登録し直します。

UVのON/OFF設定

項目名： UV
UVフィルターのON/OFFを切り替えます。

ごみ箱機能設定

項目名： ごみ箱機能
ごみ箱機能のON/OFFを切り替えます。

ON	選択したファイルは、ごみ箱へ移動します。
OFF	選択したファイルは、完全に消去されます。

サムネイル表示の日付ラベル設定

項目名： 日付ラベル
サムネイル表示にある日付ラベルを表示させるかON/OFFを切り替えます。

ロックNo.設定

項目名： ロックNo.
カメラ起動時に、ロックNo.を入力するかON/OFFを切り替えます。
ロックNo.を変更するには、“ロックNo.”をタップして登録し直します。

メモリーをフォーマットする

項目名：フォーマット

カメラにメモリーカードが入っている場合はメモリーカードを、メモリーカードが入っていない場合は内蔵メモリーをフォーマットできます。

- フォーマットすると、メモリーの内容がすべて消去され、元に戻すことはできません。本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- フォーマットすると、ごみ箱機能(62ページ)をONに設定していても、画像は消去されます。
- フォーマットするときは、電池残量が十分な電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。
- フォーマット中は、絶対に電池カバーを開けないでください。カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

各種設定を購入直後の設定に戻す

項目名：リセット

購入直後の設定(初期値)については、73ページを参照ください。

下記の項目は、リセットしても初期値に戻りません。

- 日時設定、Language

カメラのファームウェアのバージョンを確認する

項目名：バージョン情報

カメラの機種名、カメラに搭載されているファームウェアのバージョン、およびMACアドレスを表示します。

- MACアドレスとは、ネットワーク機器を識別するために設定されている固有の番号のことです。
- カメラのファームウェアをバージョンアップしたあとは、この画面をご確認ください。

付録

使用上のご注意

■ 取扱上のご注意

本機は精密機器です。特にレンズ部に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、下記の点に特にご注意ください。

	屋内で使用してください。（診察室／診療室や在宅診療の家屋内など）
	LEDライトを長時間点灯したままにしないでください。
	ペースメーカー等を使用している人の周辺で、本機を使用しないでください。
	濡れた手で操作しないでください。
	オートクレーブ等による滅菌処理を行わないでください。
	電磁波を発する照明機器や通信機器を、本機の近くで使用しないでください。不正確な動作を生じる可能性があります。
	撮影するときに、レンズ部をぶつけたり、落下させるなどの強い衝撃を与えないようにご注意ください。
	カメラ本体をレンズで支えるような撮影方法など、レンズに強い力がかかるようなことはしないでください。
	カバンなどの中に入れる場合はカメラに無理な力が加わらないようにご注意ください。特にレンズは、付属のレンズキャップを付けるなどして保護してください。
	落下防止のため、市販品のストラップに手を通して撮影してください。
	落下させるなど強い衝撃をカメラに与えないでください。
	本機を分解、改造しないでください。
	充電池が十分に充電されていることを確認し、使用している途中で充電池が切れないようご注意ください。

	観察、撮影時にはカメラのグリップをしっかり握り、落下にご注意ください。特に患者の上で作業するときは、患者に直接落下しないようご注意ください。
	撮影する対象に応じて、撮影モード（NORMALやDERMO）をよく確認してから撮影してください。
	撮影モードによりLEDライトの点灯／非点灯、また点灯する箇所が変わります。人への照射に注意してください。特にLEDライトの光が目に当たらないようご注意ください。
	使用期間中は、交換する際も本体で使用する充電池及びACアダプター、ケーブル等は必ず指定の製品をご使用ください。指定した製品以外を使用した場合は、破損および誤動作を引き起こす可能性があります。 また、外部からの電磁波に対する耐性の低下、電磁波の不要な放出の増加を引き起こす可能性があります。
	他の機器と近接させたり、積み重ねて使用することを避けてください。不正確な動作を生じる可能性があります。
	本機の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他の異常に気づいたときは、直ちに使用を中止してください。使用を継続すると電池が発熱、破裂、発火する原因になります。
	電池が漏液したり、異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。漏れた電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。
	本体充電用ACアダプター、HDMIケーブル、マイクロUSBケーブルを使用しないときはカメラ本体から抜いてください。
	本体充電用ACアダプター、HDMIケーブル、マイクロUSBケーブルを接続した状態で、カメラ側のコネクタに無理な力が加わらないようにしてください。コネクタが破損する可能性があります。

外圧や衝撃、落下など取り扱い上の過失による、レンズや液晶モニター、内部基板などの破損が原因の故障修理は保証期間内でも有償となります。

■ 保管上のご注意

- 保存温度範囲：-20～60℃
- 保存湿度範囲：10～85%（結露しないこと）
- 電源を切って、レンズ部、本体の汚れをふき取り、清潔な状態で保管してください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手が届かない場所に保管してください。
- 高所など、落下等で本体の破損や人体へのケガのおそれのある場所には保管しないでください。
- 長期間使用しない場合は、充電池を本体から取り外して保管してください。

■ データエラーのご注意

本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いた
- 電源を切ったときに動作確認インジケーターが緑色に点滅している状態で電池やメモリーカードを抜いた
- 通信中にUSBケーブルが外れた
- 充電してもすぐに消耗してしまう電池を使用し続けた
  - 充電してもすぐに消耗してしまう電池を使用し続けると、カメラが故障する場合があります。すみやかに新しい電池に交換してください。
- その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(77ページ)。メッセージに対応した処置をしてください。

■ 使用環境について

- 使用可能温度範囲:10〜30℃
- 使用可能湿度範囲:10〜85%(結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリ、砂の多い場所
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  - 日中の車内、振動の多い場所
  - 子供の手が届く場所
  - 高所など、落下等で本体の破損や人体へのケガの恐れのある場所
- 専門の医療施設環境または在宅医療環境にてご使用ください。

■ 結露について

真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付き(結露)、故障の原因となります。結露を防ぐには、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出して、電池カバーを開けたまま数時間放置してください。

■ レンズについて

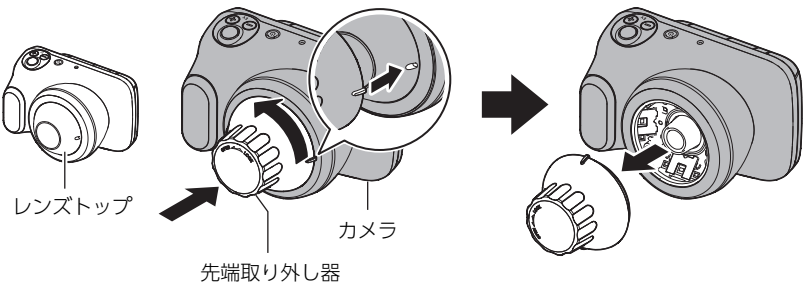
レンズ面に傷がついたり、レンズ部の故障の原因になるので、レンズ面を強くこすらないでください。

■ レンズ内部のお手入れについて

レンズ内部にゴミやホコリが付着している場合、次の手順でお手入れしてください。

1. 先端取り外し器(DLR-100M)を装着して、レンズトップをカメラ本体から取り外す

先端取り外し器のツメとレンズトップの溝を合わせます。



2. レンズ内部に侵入したゴミやホコリをブロアーなどで吹き払う

3. 先端取り外し器を使用して、レンズトップをカメラ本体に取り付ける

レンズトップをカメラ本体に取り付けるときは、レンズトップの溝が元の位置に戻るまで回してください。

参考

- ゴミがレンズ内部に入り込む原因となるため、安易にレンズを取り外さないでください。

■ LEDライトについて

- LEDライトを直視したり、電源が入った状態で、先端の接触部レンズの中を覗き込まないでください。強い光が目に入り視力障害などの原因となることがあります。
- 目の近くを撮影する場合、光が直接目に当たらないようにしてください。
- ライトを接触部先端より、明るさHIGHで長時間射出すると、先端部の温度が41℃を越え最大46℃に至る場合があります。撮影をしていないときは、ライトを消灯してください。

■ カメラのお手入れについて

- レンズ面やLEDライトには触れないでください。
- 先端の接触部レンズ内にゴミやホコリが付着していないか確認してください。ゴミやホコリが付着している場合は、付属の器具を使用して接触部のレンズを取り外し、ゴミを取り除いてください。
- 使用前、使用後は適正な濃度の消毒用エタノールなどを含ませた清潔なガーゼや柔らかい布で先端の接触部レンズの汚れをふき取ってください。
- 感染防止のため、カメラの使用前、使用後は接触部のレンズを清潔に保ってください。
- ジェルを使用する場合は人体に無害の水溶性のジェルをお使いください。ジェル使用後は、先端の接触部レンズの周囲を特にきれいにふき取ってください。
- 使用前、使用後は、カメラ本体、先端の接触部のレンズに汚れ、欠け、割れがないか確認してください。
- 破損した機器は使用しないでください。

■ 本機およびACアダプターの取り扱い注意事項

- 廃棄またはリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

■ 充電式電池の取り扱いについて（リサイクルのお願い）

Li-ion 00

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<最寄りのリサイクル協力店へ>
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　https://www.jbrc.com/

■ 使用済み充電式電池の取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ 無線機能（無線LAN）の使用上のご注意

- この製品は、無線を利用しているため、周りの機器に影響を与えたり、影響を及ばされる可能性があります。
- 本機は米国再輸出規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。

使用周波数について

本機は2.4GHz帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- 本機は、EMC規格に適合していますが、近くに高周波発生機器(携帯電話等)がある場合は、誤動作する可能性があります。誤作動した場合、高周波発生機器を遠ざけて使用してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

周波数の見方について

無線LAN

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は20mです。

電波転送の傍受について

電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

不正アクセスについて

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、当社では一切の責任を負いかねます。

無線機器としての利用について

本製品の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。
また、2.4GHz帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

公衆LANへの接続に関して

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕向地について

本機の無線LAN機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

■ その他の注意

- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 携帯型無線通信機器(アンテナケーブル及び外部アンテナ等の周辺機器を含む)を本機の30cm以内に近づけないでください。機器の性能が低下する可能性があります。

■ 商標、登録商標について

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Windows、Windows Media、Windows 7、Windows 8.1、およびWindows 10は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、およびQuickTimeは、Apple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

本製品に弊社が提供しているソフトウェアを、無断で営業目的で複製（コピー）したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

■ オープンソースソフトウェア（Open Source Software）について

本製品には、以下のライセンス条件に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれています。

BSD License

Copyright (c) 1987 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted
provided that the above copyright notice and this paragraph are
duplicated in all such forms and that any documentation,
advertising materials, and other materials related to such
distribution and use acknowledge that the software was developed
by the University of California, Berkeley. The name of the
University may not be used to endorse or promote products derived
from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR
IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED
WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

電源について

充電について

■ 充電中にカメラの動作確認インジケーターが赤色に点滅したときは

- 周辺温度または電池の温度が高温または低温状態で、充電できないことを示しています。ケーブルを抜いて常温でしばらく放置したあと、使用可能温度範囲で充電を再開してください。
- 電池の接点部の汚れを調べてください。汚れていたら、乾いた布で拭いてください。

上記の処置をしても動作確認インジケーターの点滅がおさまらない場合は、電池の不良が考えられます。本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

電池に関するご注意

■ 使用上のご注意

- 寒い場所では、電池の特性上、十分に充電されていても、使用時間が短くなります。
- 使用可能温度範囲で充電してください。範囲外の温度では、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。
- 電池の外装シールを破ったり、はがしたりしないでください。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電池の寿命と思われますので、新しいものをお買い求めください。なお、古い電池は使用せずに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください(68ページ)。

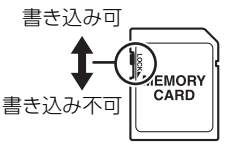
■ 保管上のご注意

- 充電された状態で長期間保管すると電池の特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。
- 使用しないときは必ず電池をカメラから取り外してください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、電池が消耗し、充電に時間がかかったり、カメラが壊れたりします。
- 乾燥した涼しい場所(20℃以下)で保管してください。
- 過放電を防止するために、電池は半年に1回くらいの割合で一度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

メモリーカードについて

使用できるメモリーカード、メモリーカードの入れ方については15ページをご覧ください。

■ メモリーカードについて



- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、またはSDXCメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア（光ディスク（Blu-ray、DVDなど）、ハードディスクなど）にバックアップして控えをとることをおすすめします。

■ メモリーカードのご使用上の注意

- メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合がありますので、できるだけ超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。ただし、超高速タイプのメモリーカードであっても、すべての動作を保証することはできません。
- 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、D'z IMAGE STORE（https://dz-image-store.casio.jp/）の「サポート」にある「Q&A」をご覧いただくか、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄／譲渡するときのご注意

本機の「フォーマット」や「消去」機能では、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、内蔵メモリーのデータは「フォーマット」機能（63ページ）で完全に消去してからカメラ本体を廃棄・譲渡することをおすすめします。

リセット操作でリセットされる内容

撮影モード、再生モードで表示されるメニューで、リセット操作(63ページ)でリセットされる(初期値になる)内容の一覧表です。

- 「−」表記の設定項目は、リセット操作しても初期値に戻りません。

重要

- 撮影モードによっては、使用できないメニューがあります。

無線設定	無線機能 : OFF 無線モード : AP SSID : DZ-D100 パスワード : 00000000
撮影モード	NOMAL : ON DERMO CONT : ON DERMO : ON DERMO AIF : ON MOVIE NORMAL : ON MOVIE DERMO : ON MICROSCOPE : ON
静止画サイズ	20M
液晶設定	0
操作音	起動音 : ON ハーフシャッター : ON シャッター : ON 操作音 : ON 操作音量 : 3

日時設定	−
表示スタイル	年/月/日
Language	−
ホワイトバランス	オート
医師ID	起動時に医師IDを入力する : OFF
患者ID	起動時に患者IDを入力する : OFF
UV	OFF
ごみ箱機能	OFF
日付ラベル	OFF
ロックNo.	起動時にロックNo.を入力する : OFF

故障かな？と思ったら

現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない(11ページ)。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(12ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の性能寿命です。別売の当社のリチウムイオン充電池(DNP-100M)をお買い求めください。
電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた可能性があります(14ページ)。電源を入れ直してください。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(12ページ)。 3) カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げてからお使いください。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください。
充電について	
動作確認インジケーターがオレンジに点灯せず、充電できない。	1) カメラに接続している本体充電用ACアダプターのケーブルを抜き差ししてください。 2) カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください(12ページ)。 3) 本体充電用ACアダプターの接続、または電池を入れなおしても充電できない場合、電池が静電気放電等により破損した可能性があります。電池を交換してください。
撮影について	
シャッターを押しても撮影できない。	1) 再生モードになっている場合は、【▶】またはシャッターを押して撮影モードにしてください。 2) “メモリがいっぱいです”と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
オートフォーカスなのにピントが合わない。	1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 被写体をフォーカスフレームの中央に合わせてください。
撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない可能性があります。ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。
セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(12ページ)。
液晶モニターに表示される画像のピントがあまい。	アダプター切替の設定が合っていない可能性があります。撮影モードに適した設定にしてください(39ページ)。
画像にノイズが入る。	被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。

	現象	考えられる原因と対処
	撮影したのに画像が保存されていない。	1) 記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。電池残量表示が になったら、速やかに電池を充電してください(14ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた場合、画像は保存されません。記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
	動画撮影中に画像がぼける。	1) アダプター切替の設定が合っていない可能性があります。撮影モードに適した設定にしてください(39ページ)。 2) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください(67ページ)。
	動画撮影が終了できない。	静電気放電等により、モニターの画面が変わらず動画撮影を終了できない場合があります。ACアダプターのケーブルを抜き差し、または電池を入れ直して、電源を入れ直してください。
	動画撮影が勝手に終了した。	カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの温度を下げてからご使用ください。
	機能の設定が変更できない。設定項目が表示されない。	撮影モードによっては、使用できない設定項目があります。
再生について		
	画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のカメラで撮影したメモリーカードを使用した場合は、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
無線機能について		
	無線LANに接続できない。 接続が途切れる。	1) カメラとパソコンまたは無線LANルーターが離れていると、カメラに接続できません。 2) パソコンが他の無線機器と接続している可能性があります。パソコンの無線接続設定で、本機が選ばれているか確認してください(48ページ)。 3) 電子レンジやコードレス電話機、他の無線機器を近くで使用している場合は、接続が途切れることがあります。機器から十分に離してお使いください。 4) 上記のいずれも問題はなく接続できない場合、静電気放電等によりカメラが破損した可能性があります。本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にお問い合わせください。
その他		
	画面に表示される日時や記録したデータの日付が正しくない。	日時の設定が間違っているので、日時を設定し直してください(61ページ)。
	画面に表示される言葉が外国語になっている。	表示言語の設定が間違っているので、表示言語を設定し直してください(61ページ)。
	パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実に接続してください。 2) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 3) USBケーブルをUSBハブなどを経由してパソコンと接続すると、正常に認識しない場合があります。USBケーブルはパソコンのUSB端子に直接接続してください。 4) 電池消耗マークが のときは、USB通信できない場合があります。電池を充電してから接続してください。

	現象	考えられる原因と対処
	カメラの電源を入れると、時計設定画面が表示される。	1) ご購入直後の初期設定をしていないか、電池が消耗状態でカメラを放置しています。各設定を確実に行ってください(14、19ページ)。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている恐れがあります。この場合は、リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(63ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに時計設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。 再度電源を入れても時計設定画面が表示される場合は、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にお問い合わせください。
	画面に色々なマークや数字などが表示される	画面には撮影に必要な表示や撮影した画像の情報などが表示されます。DISPをタップするごとに、画面に表示される情報表示の有無が選べます(10ページ)。
	購入後、時計を設定したあと、すぐに電池を抜いたら、設定した時刻がリセットされた。	電池を入れ、時計を設定し直してください(19ページ)。その後、24時間以上は電池を入れたままにしておいてください。 • 24時間以上、電池を入れているのに、電池の抜き差しで時刻がリセットされる場合は、カメラの設定保持機能が壊れている恐れがあります。この場合は、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にお問い合わせください。
	電源を入れた直後、ボタン操作ができない。	メモリーカードの容量が大きい場合、電源を入れてからボタン操作ができるまでの時間が長くなります。

画面に表示されるメッセージ

カードが異常です	メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示されるときは、フォーマットしてください(63ページ)。 重要 • フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(63ページ)。
カードがロックされています	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、またはSDXCメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイルを操作することができません。
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
電池容量が無くなりました	電池がなくなったときに表示されます。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
レンズエラー	レンズが予期せぬ動作をしたとき、このメッセージが表示され、電源が切れます。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、本書および別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」にお問い合わせください。
送信に失敗しました	画像管理ソフトD'z IMAGE Viewerへの画像送信が失敗したときに表示されます。
通信が切断されました	Wi-Fi接続中のPCとの通信が切断したときに表示されます。
Wi-Fi接続に失敗しました	接続先PCとのWi-Fi接続に失敗したときに表示されます。

撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

画像サイズ(pixels)	ファイルサイズ	内蔵メモリーでの撮影枚数※1	SDメモリーカードでの撮影枚数※2
20M (5184×3888)	8.06MB	5	1860
12M (3968×2976)	4.72MB	9	3190
5M (2560×1920)	1.97MB	23	7590

動画

画像サイズ/pixels(音声)	転送レート(フレームレート)	1ファイル最大サイズ	内蔵メモリーでの記録時間※1	SDメモリーカードでの最大記録可能時間※2	1分録画時のファイルサイズ	一回当たりの連続撮影可能時間※3
UXGA 1600×1200 (モノラル)	18メガビット／秒 (30フレーム／秒)	4GBまで	18秒※4	1時間55分	140MB	25分

※1 内蔵メモリーをフォーマット後の容量(約40.0MB)の場合です。
※2 16GB SDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製)の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数・記録時間は異なる場合があります。
※3 1ファイル最大サイズよりも容量の小さいSDメモリーカードを使用する場合は、記載の時間より短くなります。
※4 内蔵メモリーでは、動画の転送レートを十分に満足できません。超高速タイプのメモリーカードをご使用ください(15ページ)。

- 撮影枚数／撮影時間／記録時間は目安(おおよその数値)であり、画像の内容によって少なくなることがあります。
- ファイルサイズ／転送レートは目安(おおよその数値)であり、撮影対象によって変化することがあります。
- 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

主な仕様／別売品

画像ファイル形式	静止画：JPEG（Exif Ver. 2.3／DCF2.0準拠／DPOF未対応） 動画：MOV形式、H.264/AVC準拠、IMA-ADPCM音声（モノラル）
記録媒体	内蔵フラッシュメモリー （画像記録エリア：約40.0MB※） SD／SDHC／SDXC ※ 内蔵メモリーをフォーマット後の容量
記録画素数	静止画： • NORMAL、DERMO CONT、DERMO、MICROSCOPEモードの場合 20M(5184×3888)／ 12M(3968×2976)／ 5M(2560×1920) • DERMO AIFモードの場合 14M(4368×3280)／ 5M(2560×1920) 動画：UXGA（1600×1200）
有効画素数	約2016万画素
撮像素子	サイズ：1/2.3型CMOS（裏面照射型） 総画素数：約2114万画素
レンズ	F3.3/f=7.67mm (35mmフィルム換算53.5mm相当)
ズーム	デジタルズーム8倍 ズーム分解能：0.1倍
フォーカス	コントラスト検出方式オートフォーカス
撮影可能範囲	NORMALモード： レンズ（先端ガラス部）から約1 cm～∞ DERMOモード： レンズ（先端ガラス部）から0mm～約3mm • 小径アダプター使用時： アダプター（先端ガラス部）から0mm～約3mm
露出補正	－2.0EV～＋2.0EV (0.1EVステップ)
シャッター方式	CMOS電子シャッター
シャッタースピード	2秒～1/8000秒
フィルター切替	偏光/非偏光/UV
ホワイトバランス	通常（NORAML）撮影： オート/昼白色蛍光灯/昼光色蛍光灯/電球/マニュアル 接写（DERMO）撮影：固定
ISO感度（標準出力感度）	通常（NORAML）撮影：オート 接写（DERMO）撮影：固定
通信機能	Wi-Fi： • 準拠規格：IEEE 802.11b/g/n • 使用周波数範囲：1～13ch 2412MHz～2472MHz • 暗号化方式：WPA2 • 放射電力：8.51mW
画像モニター	3.0型TFTカラー液晶 1,036,800ドット 静電容量式タッチパネル
外部接続端子	マイクロUSB端子（Hi-Speed USB準拠）、HDMI™ output（マイクロ/タイプD）、 DCジャック（5V/3A）
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
電源	リチウムイオン充電池 (DNP-100M) ×1個
耐用年数	5年

電池寿命

下記の電池寿命は温度23℃で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

静止画撮影枚数※1	約175枚
動画実撮影時間※1	約45分

- 温度:23℃
- 使用電池:DNP-100M(定格容量1690mAh)
- 記録メディア:16GB SDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製)

※1 CIPA(カメラ映像機器工業会)規格に準ずる

- 前記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- この数値は実際の使用での電池寿命を保証するものではありません。

消費電力	DC3.7V 約6.1W
外形寸法	幅127.5mm×高さ76.0mm×奥行き86.1mm
質量	約395g (電池およびメモリーカード含む) 約350g (電池およびメモリーカード除く)
適合規格	IEC60601-1 IEC60601-1-2 モニターおよびパソコンは、IEC/UL/CSA/EN60950-1、JIS C 6950-1、またVCCI-B、FCC-B、CEに適合している製品をご使用ください。 適合しない製品を使用した場合、適合規格を満足しない可能性があります。
エミッション	CISPR11 グループ1 クラスB
適合クラス・グループ	IEC61000-4-3 放射RF電磁界
イミュニティ試験レベル	IEC61000-4-6 RF電磁界によって誘発する伝導妨害 在宅ヘルスケア環境
医用電気機器の安全規格	本機はB形装着部に適応しています。 右記マーク参照 クラスⅡME機器 • 装着部については、「各部の名称」をご確認ください。

■ リチウムイオン充電池(DNP-100M)

定格電圧	3.7V
定格容量	1690mAh
外形寸法	幅36.0mm×高さ55.2mm×奥行き13.7mm
質量	約46g

■ 本体充電用ACアダプター(AD-M50300A)

入力電源	AC100-240V 0.44 - 0.22A
出力	DC5.0V 3A
周波数	50Hz/60Hz
外形寸法	幅64mm×高さ34.8mm×奥行き50mm(突起部除く)
質量	約137g
電撃に対する保護の形式	クラスⅡME機器(補強絶縁)

■ 別売品(2021年5月現在)

- リチウムイオン充電池 DNP-100M
- 本体充電用ACアダプター AD-M50300A
- 小径・立体アダプターセット DAS-100M
- 顕微鏡アダプター DMS-100M
- 充電器セット DCS-100M
- 保護フィルム DFP-100M

上記をはじめとする別売品の最新情報については、携帯電話やスマートフォンで下のQRコードを読み取るか、下記アドレスに接続して、D'z IMAGE STOREでご注文いただけます。

https://dz-image-store.casio.jp/

■ 本体装着部

ガラスカバー	アルミノシリケートガラス
接着剤	アクリル系 紫外線可視光硬化型
ガラス保持部	PBT（ポリブチレンテレフタレート樹脂）

■ 小径アダプター　先端部

ガラスカバー	アルミノシリケートガラス
接着剤	アクリル系 紫外線可視光硬化型
ガラス保持部	PBT（ポリブチレンテレフタレート樹脂）

■ 立体アダプター　先端部

本体	熱可塑性ポリウレタンエラストマー

注意マーク アイコン	ISO7010-W001 特定しない一般的な警告標識
B形装着	IEC60417-5840 B形装着部 体表にのみ装着する機器（装着部）に付けるマーク。
クラスⅡ 機器マーク	IEC60417-5172 クラスⅡの機器基礎絶縁と付加絶縁とから成る二重絶縁または強化絶縁が機能するように設計されているME機器に付けるマーク。
電源マーク	IEC60417-5009 電源（待機）

索引

英数字

AP モード 60
DCF 規格 59
DERMO 30
DERMO AIF 31
DERMO CONT 30
DERMO（動画） 32
HDMI 45
Language 61
LED ライト 67
MICROSCOPE 33
NORMAL 29
NORMAL（動画） 32
SD メモリーカード 15
SDHC メモリーカード 15
SDXC メモリーカード 15
SSID 48, 60
STATION モード 60
UV 62
UV 画像 30

あ

アダプター切替 39
医師 ID 62
液晶設定 60
液晶モニター 8, 10
オートパワーオフ 14
音量 61

か

拡大 42
患者 ID 62
機能 43
ごみ箱機能 62

さ

再生（再生モード） 24, 42
撮影 22
撮影（撮影モード） 29
撮影モード 22, 60
サムネイル表示 42
時刻 19, 61
自動転送 50
充電 11, 71
消去 25
情報 10
ズーム 35
スケール表示 37
スリープ 14
静止画 22, 24
静止画サイズ 60
設定 37, 60
セルフタイマー 38
操作音 61

た

デジタルズーム 35
電源 11, 71
電池 11, 68
電池残量 14
動画 24, 42

な

内蔵メモリー 15
日時 19, 61
日時設定 61

は

パソコン 52
日付 61
日付ラベル 62
非偏光画像 30
表示言語 61
表示スタイル 61
ピント 23
ファイル 58
フィルター 38
フォーカスフレーム 23
フォーマット 63
フォルダー 58, 59
偏光画像 30
ホワイトバランス 41

ま

無線接続 46
無線設定 60
無線モード 47
メッセージ 77
メッセージの言語 61
メモリーカード 15, 63, 72

ら

ライト 38
リセット 63
露出補正 34
ロック No. 62

アフターサービス窓口について

機能・操作・購入先に関するお問合せ先

ナビダイヤル®

0570-088910

https://casio.jp/support/contact/before/

●IP電話・公衆電話の場合　●音声通話定額制の場合

03-5334-4613

月曜日～金曜日　AM9:00～PM5:00（土・日・祝日・弊社指定休業日は除く）

●本体・オプションの使い方の窓口です。

修理に関するお問合せ先

ナビダイヤル®

0570-009775

https://casio.jp/support/contact/before/

●IP電話・公衆電話の場合　●音声通話定額制の場合

0237-53-9775

月曜日～金曜日　AM9:00～PM5:00（土・日・祝日・弊社指定休業日は除く）

●故障診断・修理料金・修理期間等の窓口です。

本製品の修理サービスに関する業務は山形カシオ株式会社が担当いたします。

• 電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

CASIO®

製造販売業者：山形カシオ株式会社
製造業者：山形カシオ株式会社

〒999-3701 山形県東根市東根甲5400-1

MA2105-F

© 2019 YAMAGATA CASIO CO., LTD.